

SD**C** ST **J**apan

Dive Freak Magazine

2001年4月 № 09

エスディーシー ジャパン

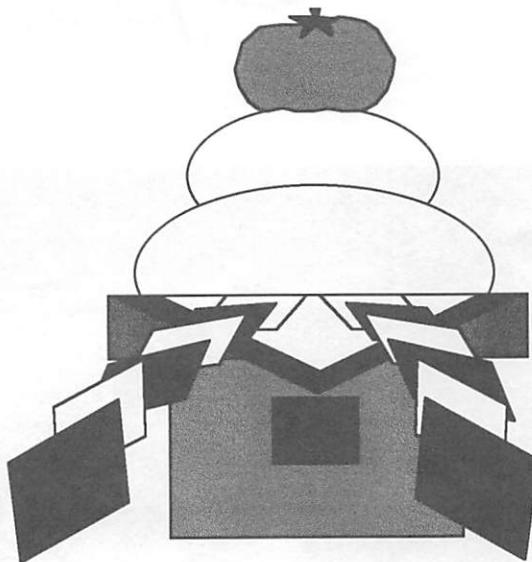
<http://sdcj@cside5.com/>



CONTENTS

新たな世紀の新年会	2
欠席者の声	3.4.5
新年会(小西ゆみ子・村上あい子)	6
新年会(南要次・中村清)	
オン・ステージ(山崎賢二)	7
与那国ツアーノ (近藤敬子)	8
与那国ツアーノ日記(今澤恵子)	9
ベトナム添乗始末記(今村孝)	10.11
初参加はポナペ (川畠和弘)	12.13
ニューカレドニアリフー島 (松田直彦)	14
ダイビング計画一覧表	15
リーダー一覧	
石垣北部は凄かった (良縁寺悦子)	16
ツアーパート確認書 (用紙)	17
SDC ダイビングの方法	18
パインアップルツアーノ (広告)	19
SDC 賛助会員のご紹介	20.21
バリに魅せられて (長嶺緑)	22
ダイビング徒然 (高木元子)	
伊豆 西・東 (良縁寺悦子)	23
フィジー・マナ島 (山岸雅)	
21世紀初ダイブ グアム (宮本節子)	24
安全潜水講座 (杉本信也)	25
グレートバリアリーフ (立花佐知子)	26
一人ダイブで感じたこと (宮本節子)	27
ダイビング四方山話 (窪田穂)	28
南の島、石垣島の快適な暮らし (社領孝)	
アクアガーデン (広告)	29
会員紹介	30.31
掲示板	32.33
プレルトガラツアーノ (真杉靖夫)	34.35
慶良間ツアーノ (加藤初広)	36
ハンマーへッドを追って (藤本広子)	
グローバルスポーツ (広告)	37
2000 & 200 (若狭智京)	
G-FREE (広告)	38
1000本と400本記念ダイブ (宇留賀達雄)	39
表紙に寄せて (渡辺良子)	
会費振込みのお願い・総会のお知らせ	
ダイビング計画募集・SDC の紹介	
編集雑感	40

新たな世紀の新年会



新たな世紀・二十一世紀を迎える一月二十七日、日本シニアダイバークラブ恒例の新年会が、渋谷エクセルホテル東急で開催されました。当日は朝から全国的な大雪。

出席の皆さんのが足がどうなるか、大変心配されました。

そんな中、南は沖縄・石垣島、長崎、北九州、北は岩手、山形から遠路、悪路の中駆けつけて下され、当日の欠席者も殆ど無く、態勢百八名の参加がありました。

新年会に先立ち、臨時総会を開催し、会則の改定の審議を行い原案通り全会一致で可決いたしました。

引き続いて行なわれた新年会では、十二の各テーブルに「お世話係」を配し自己紹介を行なうなど和気藹々と交流を深めました。

今回から賛助会員の方の出席を頂き、又お楽しみ抽選会を行なうなど盛況な新年会でした。抽選会の景品として、会員・賛助会員の皆様方から沢山の賞品の提供を頂きました。ありがとうございました。

お世話戴き、大変感謝いたしております。何時の日か「私もお世話係をさせて戴こうかとも思いますが、何時の事になりますやら・・・。これからもよろしくお願ひします。 123 河村啓子

平素の活動大変ご苦労様です。水温も大分下がつてしまいましたが、伊豆にてスキルアップに励んでおります。 371 千徳征秀

現役にて時間が取れません。残念ですが・・・。忙しい日々の間を縫って、時間そっくり趣味に興じています。ダイビングの予定を立てるのは大変ですが、其がまた楽しいです。SDCに入会させていただき、楽しみが増えて本当に有難うございます。 293 今井征二

いつもお世話様になります。SDC会報3ヵ月毎楽しく拝読をさせていただいてます。
ボランティアでSDCのご尽力くださっている方々に深く感謝いたします。今回陸上自衛隊の新年互礼会と重なり出席できず。失礼申し上げます。
305 宮内弘人

ブランクダイバーのトレーニングをして皆様に参加していきたいと思っております。毎回楽しく会報を拝読して、役員さんに感謝いたしております。 203 宇津木都生子

今年こそ参加の予定でおりました所、組合の一泊新年会と重なってしまい、役員をいたしております関係上残念ながら欠席いたします。次第に会員数も多くなりお役をなされている方は大変なことと存じます。先日千葉さんとお電話にて私が伊豆で冬期6回ほど使用しておりましたドライスーツの事をお話をしましたが、どなたか使ってくださいればと存じておりますが如何なものでしょうか?
また皆様にお目にかかる日を楽しみにしております。 059 古田千慧子

整形外科医の医院を開業していますのでなかなかSDCの行事に参加できず残念です。昨年PADIインストラクター資格をとりました。今後ともよろしくお願ひします。 239 三宅康裕

零細企業のため、この不況を乗り越えるのに必死です。 050 川口力

大変お世話になっております。色々参加させていただきお友達がたくさん出来ました。1月は18日よりケアンズに1週間程参加しますので、新年会は欠席します。 247 長野恭子

妻美美子が体調を崩し予定しておりましたシパダンをやめてしまいました。10月末病院を退院し来年はと考えております。2001年4月以降年間4回を目途に海外でダイビングを楽しもうと思っております。今後とも末永くお付き合いくださいようお願いします。

065 上野勇
066 上野美美子

残念ながらスキーツアーの予定が先に入ってしまいましたので、欠席させていただきます。
323 真杉靖夫

都合がつかず今回は欠席します。会報楽しみにしています。13年はどれかのツアーパーに参加したいと思っております。近畿圏での集まりがあれば説いてください。会員がもっと増え支部みたいなものが出来れば参加しやすくなるかもしれませんね。今後ともよろしくお願ひします。
326 酒井富義

大変残念ですが、日程の都合がつかないので今回は欠席させていただきます。毎日雪を見て暮らしています。1月19日クリスマス島より帰国する予定になっております。
039 斎藤靖子

一度出席させていただきたいと思っているのですが、今回もタイミングが合わず残念です。というのは大ボカをやってしまったからです。元々この冬にはタヒチかシバダン、マジエロのどこかへ行く予定を立てていた折、種々の理由により行先変更し、ケアンズクルーズになりました。先日旅行社に申込金を振り込んだ後、最新の SDC 会報を戴き、気づいて今年の予定を見たら全く同じ日程でのクルーズ、失敗ご一緒に頂く唯一のチャンスを逃してしまいました。いつも現役の小生と皆様とは中々日程が合わないところでしたのに、こんな偶然は自業自得です。申し訳ありません。向こうで会えたらご挨拶させていただきます。111 星野晴男

残念ながら今回も仕事の関係上欠席とさせていただきます。事務局役員の皆様のご苦労に対し心から感謝いたします。良い日々を。。。
053 橋信男

SDC のスタッフの皆様方にはいつもお世話になり有難うございます。また大変なご苦労に感謝いたします。なかなか行く機会に恵まれず今回も欠席となってしまいました。まだ SDC ツアーにも、日程等が合わず参加できませんが、本年こそツアーに参加して皆様方との交流を図りたいと思います。
306 宮本節子

いつも御苦労様です。このたびは欠席させていただきます。本当に残念です。まだ現役ですので仕事が待っています。12月後半2週間かけて Costa Rica の Co Co Island へ行ってきました。各国から集まったダイバー 11名、インターナショナルのダイビングでした。海に入ったら自由です。バッカリ Hammerhead Shark をこの目でフィルムでゲットしました。どうぞこれからもよろしく。

374 藤本広子

お知らせ有難うございました。当日は南関東ブロックのスキー競技会出場の為、出席できません。ご盛会を祈りつつ、白銀の中で滑ります。
フジテレビ出演についてもお断りいたしましたが悪しからずお許しください。雪が解けましたらまたお仲間に入れていただきたいと願っております。
343 内山数子

私最近腰を悪くしまして、ダイビングは止めます。また元気になりましたら宜しくお願いいたします。
167 堀口信安

冬眠中ですみません。新年会には一度も出席したことがありません。職業柄とはいえ、淋しいですね。皆様に宜しくお伝えください。
047 竹腰憲江

昨夏始めたダイビングに、そして海の魅力にすっかりはまっています。タンク本数も 150 本となりました。2000 年で印象的だったのは、噴火前に潜った三宅島の穏やかな海、大島のニタリ、神子元のハンマーHEAD、毎回いろいろな発見のある IOP です。SDC のツアーや Truck や串本も印象深かったです。2001 年もいろいろな海や海洋生物と出会えることを楽しみにしています。
362 宮村佳代子

介護保険制度が始まり日々忙しく昨年は一度も海へ行けませんでした。H13.3 月で退職なので思切り魚たちに会いに行きたいと夢膨らませています。
265 佐々木利恵子

参加できなくて残念です。公私とも年齢的に大変忙しい時期を迎えており、ダイビングにもなかなか行けない状態が続いております。来年こそは美しい海で遊びたいと考えておりますが如何なりますか？皆様といつか一緒に潜れる日を楽しみしております。宜しくお伝えください。
新年会ご盛会になりますことをお祈り申し上げます。
237 寺田雅英 238 寺田賀代

当日は生憎旅行予定のため残念ながら欠席させて頂きますがご盛会をお祈り申し上げます。132 岡野博

現在香港駐在の為参加できません。月刊誌ダイバー1月号で香港の海が一部紹介されていますが、ご興味のお持ちの方がおられましたら御一報いただきましたら段取りできます。尚小生はホンコン JAPAN ダイビングクラブでダイビングを楽しんでおります。

150 玄島稔久

いつも欠席ですみません。
12/28～1/20までパラオに行っています。是非来年はSDCでの参加楽しみにしております。計画がありましたらお知らせください。199 竹内きみ枝

いつもお世話になっています。1月末の良縁寺さんのツアーで与那国に参加する予定です。遺跡とハンマーをとても楽しみにしています。残念ながら新年会には出席できませんが今後ともよろしくお願ひします。

116 佐伯千絵子

いつもお世話になり有難うございます。12月31日～1月10日までハワイでダイビングをする予定です。

74 藤井泰代

毎回SDCニュースを楽しく拝読いたしております。役員の皆様に感謝
最近はツアーに参加していませんがダイビングは続けています。147 近藤朋子

欠席者の言

のんびりと旅とダイビングをやりたいと思いつつ日々忙しさに負けてしまいます。かなうのは定年後でしょうか。

009 笠松忠海

昨年は沖縄オノリーに5回、1回は台風14号に遭遇、1週間の滞在中ビーチ2本と言うこともありました。仕事の関係で長い休みが取れないで今年も沖縄かな？ 258 後藤清孝

脚力の衰えを感じています。若い人とガンガンダイビングは疲れるようになりました。まだ働いて多忙なのですがシニアのツアーに参加すべき時がきたのかなと感じます。 117 松裏貞子

新入会後初めて、鳥飼和代さんの企画された「南紀大島・串本を潜ろう」会に参加しました。そのときの様子が読売新聞・全国版に掲載されると言う嬉しいハプニングもあって、参加された皆さんと楽しい時間を過ごしました。これに味をしめて、11月にはオーストラリア・グレートバリアリーフに出かけ、アドバンスコースに挑戦、無事終了すると共に50本ダイブも達成しました。これでやっとダイバーとして第一関門を通過した感じですが、退職して時間的余裕が出来た今年は、さらに機会を見つけてSDC会員の皆さんと一緒にダイビングを楽しみたいと願っています。

395 鎌田進

スキーにゴルフとアマチュア無線65歳を過ぎてから始めたスクーバダイビングと道楽だけでも超多忙に加えて、この不景気で会社を辞めたいのに辞められず、仕事は現役です。全日本マスターズジャイアントスラローム選手権に今年も出場すべく、今はスキーシーズンでSDC新年会には出席できません。全日本マスターズは年齢5才刻みで、今年度は69歳で一番不利な年齢ですが、来年70歳になるので、継続は力と思って今年もスキーをそこそく頑張るつもりでいます。一昨年は80本ですが、昨年は60本しか潜れませんでした。

232 安藤弘基

本年もお世話になります。幹事の皆様には誠にありがとうございます。1月末の土曜日はどうしても出席できません。21世紀も当会の益々のご発展をお祈り申し上げます。085 鈴木清子

今年は仕事が忙しくてなかなかダイビングへいくことが出来ません。海の雑誌を見ては溜息・・・。ストレスがたまりそうです。来年は行きたいと思いますが・・・？関東の幹事さん、いつもお世話をいただき有難うございます。

106 野中治 107 野中サチ子

デジカメが当たった私

白銀の東京に歓迎された新年会

409 小西 ゆみ子

420 村上 あい子

新年会

全国の SDC の皆様こんにちは。

2001年1月27日、東京渋谷の渋谷エクセルホテル東急にて SDC の新年会が開催されました。

そこで私はいきなり思ってもみなかった、シニアダイバーズ賞のデジカメが当たってしまったのです。

大喜びしたのも束の間、再度の挨拶とこの原稿依頼がありました。

大変なおまけ付の大賞でした。

さて、その新年会ですが、役員の皆様方の行き届いた心配りのお陰で、とても楽しい、あたたか味のある会でした。

私は SDC 入会手続きの後、お送りしていただいた会報の寄稿文を隅から隅まで読んでいくうちにその内容に圧倒されてしまい、場違いな会に入ってしまったのではという不安が湧きあがってしまいました。

新年会に参加してその雰囲気を感じそれによって……

などと考えて、当日雪降るなかを出かけたのです。

さすがダイバーの集う会、会場に着きましたら、あの大雪をものとせず、北は青森から南はなんと石垣島からいらした方など108の出席者がありました。

男女半々づつの丸いテーブル毎に、お世話係の方を中心御歓談下さいという事でした。

オードブルから始まった正餐スタイルの食はとてもおいしく、メインデッシュに進む頃、会は金屏風の前の初参加会員の自己紹介やら賛助会員の挨拶、紹介に移りました。

他人の自己紹介や挨拶をこんな興味深く聞けるのも、ダイビングという共通の体のなせるワザなのでしょうか。

皆さんそれぞれ両隣はほとんど初対面なのでしょうが、すぐに打ち解けて終始にぎやかに和やかに時を過ごしたようです。

終盤の抽選会は活気あふれる盛り上がりを見せ、皆さん心からこの会を楽しんでいる様子でした。

私もこれで安心してツアーに参加させていただくつもりです。どうぞよろしくお願ひ致します。

役員の皆様、素敵な会を有難うございました。

私が初めて SDC の存在を知ったのは2000年夏、ボルネオのマブール島へダイビングへ行き、大隅さんご夫婦とお会いし、御話を伺った時でした。

ダイビングを始めて5年経ちますが典型的リゾートダイバーの私は、何処へでも一人で行って、ショップと一緒にになった人たちとダイビングを楽しむというスタイルを満喫していましたが、時折アフターダイブを同世代の方達と話がしたいと思っていましたので、大隅さんのお話には、とても興味をもち、是非メンバーになりたいと思っていました。

その前に一つやっておきたいことは、主人に C カードを取得してもらうこと。

ゴルが三度の食事よりも好きで、地面から足の離れるスポーツは絶対に嫌だと言っていた主人を、還暦の記念にと説得しライセンスをゲットしてもらい、長年の夢だった夫婦ダイバーとなりました。

SDC から419番と420番の会員番号を頂き、会員に成り立てで、1月27日、楽しみにしていた新年会に、参加させていただきました。

天が歓迎してくださったのか、東京では珍しい大雪になり私どもは少し遅れて会場に入りました。

入場したとたん余りにも大勢の方々(百人以上)がいらっしゃったのには驚きました。

こんなに沢山のダイバーにお会いするのは生まれて初めてですから！テーブルに着き、お世話係りの方のリードで美味しいお料理をいただきながら自己紹介をし、初対面とは思えない程、皆で話が弾み和やかなうちに会が進行していきました。

大隅さんのおしゃっていたことは本当で、80歳を超えてダイビングをしていらっしゃる方も御見えになり、私たちはまだまだ若輩だと実感させられました。皆様本当に若々しくお元気な方達ばかりで、嬉しくなりました。

抽選会もあり大いに盛り上がって、まだまだ名残惜しいなと思っているうちに会がお開きになりました。

これから的人生が益々楽しみだなと思えた一日でした。

新年会

090 南 要次

新年会では大変お世話になりました。

私には今回の新年会は過去1番良かったと思います。それは幹事さんの進行にムダがなく、時間的にスムーズで、なおかつ内容が充実していた事です。そのための幹事の方の御苦労誠にありがとうございました。

雪のため 勝浦～池袋間 往復36時間のバス旅行でしたが、私自身久しぶりに会員同志の交流を深める事が出来、本当に楽しい一日でした。

最後に3次会まで付き合ってくれた狩野さん、清原さん、良縁寺さん、宇留賀さん、どうも遅くまでありがとうございました。

080 中村 清

朝4時半に目覚ましで起こされ、眠い目をこすりながら、準備をし冷たい車に乗り込んだ。当たり一面10cmの積雪で、時折風で粉雪が舞い上がる。

対向車も居ない真白な道路を2時間かかって新花巻駅に到着、新幹線に乗り3時間で東京駅に着いた。驚いた事に、東京も雪降りだった。雪はみぞれに近い清い雪で東北の3月末に降るのと同じで、渋谷駅前はべしゃべしゃ状態だった。時計は予定通り10時30分頃を示している。

実は今回の新年会の参加目的には、渋谷駅のすぐ近くのショップ、オープンエアに寄るという大事な事があった。私の器材は14年前に購入したもので、ほとんど交換しないで使っていたので、全体的に寿命が来ている状態だった。そこで全て新品にすれば良いのだが、長年使った愛着心もあり、部品交換することにしたので店と相談する必要があった。オープンエアでの店員の応対はとても親切で自分の気に入ったものを手に入れることができた。やっと終わって時計を見るともう12時近かった。慌て会場に雪の中を走ってどうやらまにあった。すぐに新年会は始まり実に楽しい雰囲気だった。3年前横浜の中華街での時と同じで、和気藹々と話がはずみ、時間はあつという間に過ぎ、終わりになった。二次会への誘いがあったが、東北に帰るにはもう限界だった。もっと話ができればダイブ計画やグループとの交流もできたのにと思う気持ちで一杯だった。

どうしても、岩手で一人でやっていると他の人の計画に時間が合わなかったり、メンバーのだれ一人知ってる人の居ない中に入るので、ためらいができるものである。少し心残りの新年会だった。

オン・ステージ

040 山崎 賢二



ボクにはダイビング以外にもう一つ大事にしている趣味があります。

毎年11月後半より翌年の3月後半まではダイビングも一休みです。2爺・1婆の3人でチームをつくり無理矢理暇をつくっては週末にいそいそと出掛け行きます。

その行く先はハケ岳であったり、足尾の松木渓谷であったり、ときには南アルプスのこともあります。

先日(1/17)は袋田の滝が凍結した写真が朝日新聞のトップに掲載されたのを見て早速20日(土)に3人で駆けつけました。

ボクの趣味はアイスクライミングなのです。その日(20日)の3人は、朝7時に新宿駅南口で落ち合い、愛車の4駆EXPLORERに乗り合わせて勇躍出発です。

首都高の渋滞を避けつつ、常磐道に乗り一路、那珂ICをめざします。

水戸を過ぎ、「那珂ICまで11km」の標識を確認しながら袋田の話題で盛り上がりIC出口に気づかぬままバス。仕方なしに高萩IC経由で袋田を目指します。予定の10時より30分も早く袋田に到着。

身支度もそこそこに久慈川沿いを滝に向かいます。予想に反し、クライマーは我々3人のみ。

それに引き換え観瀑台のギャラリーは新聞報道もあってか鈴なり状態です。

我々が滝の下に到着するのを待っていたかのように地元のラジオ局がインタビューの申し込みです。

恐らく数百人は居るであろうギャラリーの視線を痛いほど感じながらのインタビューです。5分ほどの取材を終えて氷瀑の下に立ち、誰がリードするかの打ち合わせです。結局、一番年配のT爺にリードを任せます。当日の主役です。彼は「ヨ～シッ！」との気合一番アクスを振り上げ氷瀑に打ち込みます。

普段は滅多に人の目に触れる事の無いアイスクライマーの初めての「オン・ステージ」です。

両手のアクスと両足のアイゼンを力強く、確実に握りながら高みをめざす彼が、まるで若者のようにまぶしく輝いた一日でした。

* * * * 与那国 ツアー * * * *

リーダー：026 良縁寺 悅子

2001年1月21日～24日

レポーター：236 近藤 敬子

日本最西端の島、与那国。余りに有名な海底遺跡。ハンマーヘッドに代表される大物の群れとの遭遇。以前より一度は行ってみたいと思っておりましたが、この度やっと実現の段となりました。

21日早朝、よりによって、前夜から雪が降り積もり、羽田までの足が心配されましたが、総勢十人、なんとかやりくり工夫をして、定刻に無事集合しました。

東京は雪、飛行約4時間で、与那国に降り立つと、初夏のような陽気で、寒さで固まっていた体が緩んでくるのがわかります。民宿で荷を解き、ショップのインストラの「この2、3日、ハンマーが出来ます。」という話に沸き立ち、与那国そばで腹ごしらえをして、いざ出立です。

さて、「遺跡ポイント」ですが、気象の条件により、いつでも潜ることができるとは限らないそうです。今回も何本目かでやっと潜るチャンスがやってきました。海底から見上げた、聳え立つような壁の岩、まるで山みたいです。そして水面の大きな波。期待を裏切らない壯観な景色でした。

帰りの日の搭乗する前の2時間半程で、島内の観光をしました。大きな大きな海をバックにそそり立つ、碑を何倍にも大きくしたような立神岩や断崖絶壁の沢山の地形を見ると、水中遺跡は自然が生んだ産物ではないかしらと思います。遺跡か自然か、まだまだ論議が続くようですが、どちらにしても、水中で見た景観は忘れることが出来ません。

もう一つの狙い、ハンマーヘッドは、バラクーダの群れの下でシルエットとして目撃いたしました。また、ハンマーヘッドポイントの西崎で巨大な魚を目撃しました。ヘッド部分がハンマー独特の形をしていないからマグロという結論になりました。後日、写真でやはりあれはハンマーだということがわかりました。横から見たのではつきりしなかったのです。

残念ながら今回はつきりした遭遇のチャンスはありませんでした。これも自然を相手の楽しみですから、致しません。

(延泊された三宅・秋元両氏は、私達が帰途についたその日に、数十尾のハンマーヘッドに出会いました。本当によかったです。)

旅では、ご当地ならではの味の楽しみもあります。与那国ならではの味の一つに、クバ餅というクバの葉で包んだ黒糖や紫芋の入ったお餅があります。良縁寺さんが、朝食前にお餅を造っている店を探し出し、出来立てを買われたのを、どうやって上手に皮の葉をむくのかしらと、皆でワイワイしながら、チャッカリおすそ分けしてもらったり、何やかやとつまみ食いさせていただきました。(良縁寺さん、ご馳走様でした。)

やはり、黒糖と紫芋の入った餡を包んだ大福。これをお土産にと思ったのですが、帰る日の24日は作り手も旅行でお休みでした。沖縄で乗り継ぎをした後に判ったことですが、24日は旧暦の正月元旦で、そういうえば歩いていた時、あちこちに注連飾りがあったツケと、疑問が解けたような気分でした。

おやつに出された民宿の女将が作ったサーターアンダギー。外側がパリッとして、中身がシットリで、あつとう間にお皿が空になり、お土産用に特別につくってもらったほどでした。

島内観光した折、クブラバリの悲しい伝説～～昔、人減らしのために妊婦に大きな岩の割れ目を飛び越えて、成功した者だけが生き残れたという～～を知ったり、風速70メートルの台風での被害の跡、海に囲まれた小さな島、独特の形態の墓群、等を見たりしました。そこで生活している人々の姿を垣間見た気分になったとき、観光客として素通りしている私が何か傲慢だと感じるのですが、時間が経つと、又性懲りもなく、旅行に出たくなるのです。

リーダーの良縁寺さん、秋山さん、石井さん、今澤さん、狩野さん、佐伯さん、関根さん、千徳さん、三宅さん、本当にお世話になりました。又是非お会いできることを楽しみに願っております。

236 近藤敬子記



ベトナム 添乗始末記

245 今村 孝

その1

1/28～2/4 までベトナムに行ってきました。
行ったと言うよりは行かされたと言った方が賢明。
一緒に三人は退職前にお取引きいただいていた、電気工事屋の社長達。
一昨年の六月までは、大事な大事なお得意様だった会社の一員偉い方々。
この方々特有の現象として、国内旅行の場合はいやに鼻息が荒い。
国外でも仕入先メーカー社員添乗の団体旅行も同じ現象。ところが今回は私が退職したので、只の同年輩の友人としての同行。
この事はイヤイヤ参加させられた手前、出発前からの彼等との約束事。
しかし、彼等の元気の良いのは成田空港まで、機内で配られたベトナムへの出入国書類と税関申告書を自分で書かねばならないところから、態度ががらりと変わった。
私はサツサと書いてシランプリ、彼等は今までの旅行の 100%添乗員まかせの為、どこに何をどう書いて良いのか、チンパンカンパン。
私の書類をチラチラ盗み見ては、書くも間違いだらけ、その間違いを隣の人が又写し、さらにそれを又その隣がマタマタ写しとなれば生きたが死んだにもなる間違いだらけ。
私に聞くのも過去のプライドが許さない、さりとて自分では書けないし、万事休す。
成田空港までの彼等の元気は何処へやら、その内三人のうち一人が意を決して「恥ずかしながら三人分書いて欲しい」と名乗り出た。
自分、鼻穴おっきで優越感に浸りながら書いてやる、「気持ちイイーイ」、
この気分、彼等の前でせめても、退職前に味わいたかった。

その2

ベトナムのニャチャンでの出来事。
夕食に海鮮料理。貝、魚、海老、そして蟹をたっぷり食べ終わった我々四人に、ウェーターがうやうやしくドンブリに入ったスープを四つ持って来た。
私には「手の指先を洗う」ものと分ったが、後の三人ドンブリを覗き込んだら、中にレモンの切った物やキ

クラゲ見たいな物が入っていて生暖かい事から、一人がアッと言う間にひと口飲んじやった。他の1人も続いてゴクリ、これを見ていたウェーターが驚いて飛んで来て「ノープロプラム、ノープロプラム」と言いながらさっさと四つのドンブリ持つて行ってしまった。電気工事屋の三人の社長さん、突然ドンブリを下げられ何の事か分らず啞然。ところがベトナムのウェーターもたいしたもの、次にスマシタ顔で今度はウーロン茶を小奇麗な茶碗に入れて四つ持つて来て、「ドリンクOK」と来たもんだ。

私もここで「手を洗う物飲んじやつて」と教育的指導をして相手に恥をかかせなくて済んだとホッとしてウーロン茶を飲んだ。

三人も美味かった海鮮料理の話をしながらウーロン茶を飲む。と、ここまで良かつたのだが、ここから悲劇が始まった。

ナントナント、先程の三倍はある大ドンブリに例のレモンとキクラゲのタツブリ入ったスープがテーブルの真中ヘドンと出て来て、皆を見ながらウェーターがゼスチニア付きで、手を洗う仕草をドンブリの上でしたのだ。

ここで皆さん顔を見合わせて「—————」。スープの意味の分った彼等に追い討ちをかけてプライドを傷つけたく無く、私は最後まで一言も発しませんでした。社長さん達、以後再び同じ過ちはくり返さないでしょう。

その3

海岸リゾートのニヤチャンでの出来事。
私に夕食は「なんとしてもホテルのプライベートビーチでのバーベキューを手配せよ」と来た。
値段が街で食べるよりも五倍も六倍もするから止めたらと言っても、聞く耳持たず。
どうやら三人の社長さん達、昨晚浜で外人が賑やかにワインなど飲んでバーベキューしていたのを遠くから匂いを嗅いで明日は我々もと、話しあったらしい。
話し合いは日頃から慣れている彼等？
そうと決まつたら三人の鼻息は荒く、日本国内での電気工事屋の仕入れのネギリにも似た勢い。
やむなく手配、夜、お星様キーラキラの砂浜でのバーベキューの席に一同着席。
テーブルに並べられたバーベキューの材料を見て「肉が無い 肉が無い 魚貝 海老だけだ」

日本ではバーベキューと言えば 100%焼肉、毎日毎日海の物ばかりだったので彼等「今夜は肉を腹いっぱい食うぞー」と決め込んでいたらしい。

「魚のバーベキューもバーベキューですよーー」と
変な日本語の私。

一同悲しそうな顔で、「な——る程、そう言えばそうだったな——」と又もや今日も彼らは魚介類を食するのでした。

しかし、考えてみれば海老、蟹、貝、に飽きた毎日なんて贅沢な話しだすけどね——。

その4

ニヤチャンの「アナマンダラ」のレストランでのお話し

事は例の電気工事屋の社長さん達の夕食時に起きた。ワインを飲みたいので注文せよと私にご指名。

赤か白か聞いたら三人各赤・白・ロゼと分かれ、しかも瓶ごと来た。

ここではこの「ワイン談合」三人共各々譲らず赤・白なかなか決まらない。

そこでまず「年長者の A 社長さんの赤を貰いましょう、そして無くなつてから白の順で」と仲裁に入る。そしてワインリストから一本 45US ドルのフランス物を選ばせて貰う。

ウェーター、目の前で栓を抜く、注文した私に抜いたコルク栓をうやうやしく渡し確認を求めてから私のグラスに 1/5 程注ぐ、私が確認の為香りを嗅いでいたその時、A 社長突然ウェーターと私の間にワイングラスを突き出し割って入り、目でウェーターに自分に注げとの意思表示。

ウエーターこれにはびっくり、A 社長には注がないで
真ん丸い目で私を見ている。

A 社長再び自分に注げとの強い意思表示、今度はウェーターの持っている赤ワインのボトルに自分のグラスをガチガチぶつけて来た。

やむなくウエーターA 社長に注ぐ、結局私より先に A 社長が飲んじゃった。

ひと口飲んでから A 社長「温————い、まず———い」青汁じゃないんだから——。

「赤ワインは常温が常識、」と私が言ったら、「そんな事は無い、俺の行っているスナックではいつもキンキンに冷えた赤ワインを黙ってだす、常温なんて知ったかぶりをするな」の一言。

私は場の雰囲気が壊れるので黙っていましたが白ワインがキンキンに冷えて出てきたら A 社長分ったらしく私を見てバツ悪そうにニヤリ。

(こんにやろ――― 田舎紳士め――)

その5

ニヤチャンの海鮮料理屋でのお話し。

電気工事会社の社長さん達、貝、蟹、魚、を平らげいよいよメインの海老に張り切って挑戦。

A 社長、食べていた海老に塩味が足りないと見えて「塩塩」と大声、そしてテーブルの上にあった素焼きの壺に入っている岩塩の色の粒子自分で海老に振りかけて食べる。

塩味まだ足りないと見えて又振り掛ける、そしたら対面に座っていたB社長「Aさん、灰皿の砂かけて食つてうめえかよ———」。

そんな時のA社長の顔、それこそ「砂を噛む思い」の顔であった事は言うまでもないのであった。

THE END

(陰の声:今村さんとこの3人の社長、実はとっても仲良しなんだそうです。)



初参加は、ポナペ

2000年11月14日～20日

レポーター： 361 川畠 和弘

リーダー： 288 前田 浩二

SDCのメンバーとして、ダイビングに初参加させていただいたのはポナペでした。申し込み時期が遅くてシングル！ 石岡さんの誠意と熱意の特別手配でOKとなりました。 ポナペは正式にはポンペイ島でミクロネシア連邦の首都。時差は日本より2時間早く、島の大きさは淡路島の2/3です。気候は1年中30～35度。水温は水面でも、水深30数メートルでも30度でした。

メンバーは16名。出発は11/14。朝便で14名、名古屋夜便で山本さんと小生の2名、11/15の朝グアム空港内で全員集合。トラック島経由でポナペへ。天気も上々。

トラック島で小休止のため外の空気を吸いにメンバー数名とタラップを降りる。そこでは全島民が出迎えてくれたのでは？と思われるほど老若男女が金網越しに我々のほうを見ている。やがて飛行機に戻ろうと歩いていたら、大男の現地職員が背後から大声で手招きをしながら呼んでいる。呼び戻されて、手荷物、身体検査を入念に受けるハメに我々思わず苦笑い。

ポナペ空港では、日本人（古田さん）ガイド兼インストラクターが出迎え。宿泊地は空港から徒歩でも数分の近くにあるポーメリア・ビーチ・リゾートへ車で移動。

各自コテージに分散する。部屋に入り、ベッドにドッコイショッ！と腰をおろしたら、ナ・ナ・ナント！ ボヨーン ボヨーンと身体が大きく上下に踊るごとく……予想もしていなかったウォーターベッド！ これで眠れるのか不安である。明朝はベッド酔い？ してダイブどころではない？ 酔い止めクスリを飲んで寝ようかナ……寝てみれば良好。翌朝スッキリ。

夕食前にマーケットで買い物出しを済ませ、シャワーでサッパリして目前のビーチをビール片手に夕陽の中を散歩。入道雲が西空にモッコリ。

ディナーは全員揃って外食。\$8.5のバイキング。刺身やお肉もあって安くてうまい。就寝前にベランダに出て星空を満喫。星が大きくてキララ。流星があつたり、フンイキに酔う事しばし。

16日、持参した目覚まし時計が鳴るより早く、小鳥のさえずりで目覚める。小鳥は雀より少し大きめの黒い鳥である。朝食はパンとスクランブルエッグ。コーヒーがうまい！ 3杯もおかわりした。

天気良好。ボート2艘に分乗し、9時30分出発。ベ

タベタのベタ凧が続くのでアンツ環礁まで行くことにする。この時期は海が荒れてアンツまで行けることは滅多にないそうです。アンツ島は遠方にあり、個人の所有なので、入場料\$2を含め、1人\$20必要。午前1ダイブ。バディは原さん。最初なので、原さんのほうに集中する。皆さんつつがなくダイビングできたようだ。

お昼のお弁当はアンツ島のビーチで、澄みきったグリーンの大平原を目前にして結構おいしい。食後はシュノーケリングしたり、それぞれ憩いのひとときを過ごす。2ダイブを終えての後1時間の帰りは波がややあり、ボートのウェーブバウンドでお尻の痛みを訴える人が数人いて、明日のダイブを止めようか？と言いたい出で人もいたりして……。

17日、1本目はマンタロード。出ましたマンタ！ ブラックマンタを含め我々の頭上をかすめて行ったかと思えばまた戻り、3～4メートルはあるでしょうか、ユックリとした幽玄な舞に各自時がたつのを忘れ？ マンタ酔いを堪能！

午後はパルキルで、透視度抜群！ これがポナペだ～って感じ！ 魚影も濃い！

18日、朝食前のビーチ散歩。石岡さん、河原さんがパンで小魚に餌付をしている。小魚はやや人間慣れしていないのか近くに寄ろうとせず、少し離れた所のパンには競ってパクツイテいる。

午前のダイブはパーラン。ランチはビーチ近くに寄せたボート上で。山本さん持参の梅干し、小菅さん持参のザーサイ、とてもおいしかった。また、小菅さん持参のしゃぼん玉を現地ガイドが◎悦に気に入った様子で、いつまでもボートに立ち海に向かって遠くに飛ばしていた。

日中の陽射しひはかなりキツク、紫外線もハンパではない。皆さん紫外線対策にお顔が真っ白に！ 牧野さんも頭のテッペンまで、せっせ、せっせと真っ白に！ さしつめボート上での花魁の競演？（ごめんなさい）

午後のダイブはタワークで、今回最後のダイブである。透視度良好、魚影も濃く、巨大なウミウチワにもご対面できて、文句なし。流れもなく、穏やかさそのもので全員がリラックスできて、ラストダイブにふさわしかった。

19日は最後の日で、世界的有名なナンマドール遺跡へ。片道、車で1時間。道のりの半分は凸凹道が続

き、腸捻転になりそう。ガイドはこちらも古田さん。

ナンマドール遺跡は、湿地帯の沼地に城壁のごとく自然石で立派に建立した古代のお墓で、いろいろな伝説があるらしく、古田さんがうまく説明してくれる。

古田さんはポナペ滞在5年になり、きれいな日本人の奥さんとお子さんがいらっしゃる様子。それにも蒸し暑さはハンパではない。じつとしていても汗が次々と吹き出てくる。

また、車で少し移動してケブロイの滝へ。滝は写真で見たとおり、水量も多いし滝幅も広く、なかなか立派である。お腹も空いたし、滝を目前にお弁当を開く。

滝壺から流れ出てくる足元の浅瀬のせせらぎに、大人の二の腕ほどもあるうかという巨大なウナギがあちにもこっちにも！ご飯をやるとすぐにパクつく。こんなお化けウナギ見たことない。ポナペではウナギは神が宿っているとかで食さないそうナ。

やがて、皆さんお腹も満たされると、数人が水着とシュノーケル姿で滝壺へ。小野さんが水温を計ったら約28度でさほど冷たくはない。魚も10センチ前後のものがたくさんいる。我がメンバーの女性4人、滝に打たれる水着姿でハイ！ポーズ！まるでCCガールみたい。何とも愉快なグループ！！

ディナーは今回最後の晚餐です。リーダー前田さんの音頭で食後各自1人ずつ感想スピーチで、何となく感慨深くなる。

以下はメンバーに対する小生の感じたままを記しましたが、失礼がありましたらお許しください。

- No.288 前田さん リーダー。大人の風格で人格者。
- No.287 石岡さん 総支配人。快活な笑いと面倒見の良さに敬服。
- No.304 小野さん サブリーダー。ユーモアで繊細。グループに不可欠な人。
- No.369 日置さん 元気モリモリ！若々しいですね！
- No.360 三宅さん No.051 松田さん No.282 永松さん 常識あるホントの大人！紳士ですね！
- No.307 牧野さん キチンといつも礼儀正しく。日焼け大丈夫ですか？
- No.270 河原さん 自分を飾らず、いつも愛らしい！
- No.271 吉崎さん 気品と微笑で。公家の奥様タイプ
- No.119 小菅さん 現地の人に手厚く、やさしく。国際親善に尽力。
- No.231 原さん ナイスバディ。分別ある奥さん。
- No.172 島尾さん ダイブ800本。マルチウーマン。何でも博学。
- No.354 横井さん スマートな愛煙家。正直なハートでいつも好感。
- No.240 山本さん 見識秀才！時間活用が卓越。参加者は私を含め16名。

皆さん、楽しい旅行をホントにありがとうございました。





ニューカレドニア・リフー島



レポート 051 松田 直彦

200年12月4日～12月11日

ホテルのドレフ・ビラージュに着いた時、皆から突然歓声が上がった。今まで見たことのない凄いコバルトブルーの海が目の前に広がっていた。「色がきれいネー」「この海を見ただけでもう満足」と言う女性の声もあった。

ヌーメアから国内線のプロペラの飛行機に乗り継いで40分で着いたリフー島は山がなく、舗装された道の両側に木々が生い茂っていた。人家もポツンポツンとしかなく、車も非常に少なく自然がいっぱいの島だった。

今回私たちが滞在したドレフ・ビラージュはコテージタイプで部屋は広く清潔で、どの部屋のベランダからもコバルトブルーの海と白い砂浜が目の前に見えた。

リフー島のダイビングの良さは何と言っても地形の素晴らしいにあります。ケープがあちこちにあり、短い洞窟や長い洞窟、狭い洞窟や広い洞窟、洞窟の出口のほうには青い空が空のように見えたり、光の帯がサンサンと降り注いでいたり、暗い洞窟の中には立派な角を生やした大きな伊勢海老も何匹かいました。

タンクを壁や天井にぶつけないように気をつけて通ったが、このように面白い地形は今まで経験したことがないと皆感嘆していました。サンゴも元気で立派だった。

リフー島最後のダイビングは、閑空組の2人は同じ日に帰国するので出来ず、その他に女性2人及び関川さんが止めたので5人となったが、その代わりに新潟から来たという1人旅の25歳位に見える女人と中年のフランス人の夫婦が加わり、結局8名で潜った。フランス人夫婦は仲が良く、これ以上くっつけないというほど寄り添って泳いでいた。今年最後のダイビングを素晴らしい海で無事終えたことに皆満足しました。

リフー島には、1軒のダイビングサービスと1隻のダイビング用のゴムボートしかないとかで、このゴムボートはエントリーする時はバックロールで簡単に出来るが、ボートに這い上がるときが大変で、相当な腕力を必要とし、結局自力で上がれたのは菊川さんだけで、関川さんは、前回は上がれたのに今回は上がれないと残念がっていた。

私は出発する朝、軽いギックリ腰をやったので、無理を出来る状態ではなかったが、たとえ万全でも這い上がる高さではなかったので、菊川さんとダイブガ



イドのフレドリックに引き上げてもらった。

フレドリックと彼のスタッフの2名でガイドをしてくれた。彼らは比較的寡黙で冗談は言わなかつたが、対応は良かった。機材も毎回セッティングし、ウエットスーツも毎回洗って干してくれた。

リフー島のダイビングは「楽しかった」「良かった」という声が漏れ、女性たちの顔は輝いていた。

リーダー：関川清一

参加者：菊川清氏 覚張睦子 西谷サヨ 平野昌子
大西亀美代 森重美智子 千葉美子 鈴木久江
松田直彦

SDCのホームページ見てますか！

昨年末に新たなHPを開設して以来、訪問者が日増しに増え、この会報が発刊される頃には2000カウントを超える勢いです。

掲示板では、日々会員同士の情報交換が行なわれ、内容も豊富で楽しくなってきました。
まだまだ「覗き見訪問者」が圧倒的で、掲示板にメッセージを出されない方が多くおられます。

しり込みせず、どんな日常些細なことでも構いません。

自ら情報を発信してみませんか。
きっと新たな世界が拡がります。
sdcj@csidc5.com/

SDCダイビング計画一覧表（2001年4月中旬以降分）

ポイント名	日程	リーダー名	番号	旅行社他	概算費用	その他条件
西表島	6月12日～17日	奥平泰成	36	パ'ケッ'ルツアーズ	17万円	サンゴの産卵を見るツアー、宿泊・うなりざき荘
高知 柏島	7月下旬	芥川 忠雄	88	パ'ケッ'ルツアーズ	8～10万円	4泊5日、6ダイブ、羽田・伊丹発
シバダン	10月11日～17日	渡辺 宏二	314	オーシャン'ピング'	19万円位	パスポート有効残存期間は6ヶ月プラス旅行日数が必要
サイパン	5月16日～20日	大隅 照子	6	アクアリゾート	10万円弱	小物対象のゆっくりFW派、カメラ派、6ポート、食事無し
マブール	8月23日～30日	"	"	ジスコ	22万位	小物がメインですが、シバダンにもいきます。
伊豆大島ドチザメ100%	5月15日～16日	良縁寺 悅子	26	こがねむし	19,800	交通費別（竹芝・熱海・羽田）OPダイブ有り
スキルアップ	7月27日	"	"	ナッソー	15,000	伊豆海洋公園（午前プール、午後海洋実習）
スキルアップ	8月27日	"	"	ナッソー	15,000	伊豆海洋公園（午前プール、午後海洋実習）
スキルアップ	9月14日	"	"	ナッソー	15,000	伊豆海洋公園（午前プール、午後海洋実習）
オーストラリア・クルーズ	6月24日～28日	"	"	スポーツツアーズ	172,000円	ホエールウォッチング スーパースポーツ貸切＊キャンセル待ち
伊東花火と五島根	7月28日～29日	"	"	ナッソー	26,000	交通費別、現地到着時間によりOPダイブ有り
ケラマ（座間味）	10月中旬	"	"	ぶるーまりん	78,000	3泊4日6ポート、50本、100本記念の方楽しいです。OP有り
G-FREEで潜るスペシャルダイブ 石垣島	5/20～23 6/15～18 7/08～11	G-FREE& 良縁寺悦子	"	G-FREE	別途見積	2日間4ダイブ24,000円、OP6,000円/本、宿泊1泊2食6,500円 (税別) 昼食(菓子飲料含)1,200円、航空券手配します。東京で良縁寺さんがサポートします。
石垣島＆アクアガーデン	5月～11月、毎月実施、詳細は29頁参照	社領 孝	269	アクアガーデン	97000円	3泊4日4ダイブ付、良縁寺さんが東京でサポート
①モルディブ・北マーレ	11月15～22日	石岡 弘至	287	ワールドツアー	140,000	成田・名古屋。伊丹発着、全食付、ダイビングはオプション
海洋公園	6月下旬	狩野 幸繁	62	ナッソー	12,000	12名、アオリイカの産卵。歓迎、初心者
伊豆大島	10月中旬	"	"	グローバルスポーツ	6万円位	6～12名、ニタリに遭えるか！
パラオクルージング	4月中旬	関川 清一	12	スポーツツアーズ	未定	関空・名古屋・成田発。6日間位を予定
ラヤンラヤン	5月10日前後	"	"	ジスコ	20万円位	関空・名古屋・成田発。8日間。定員8名
小笠原ショート＆ロング	6月18日～	"	"	パパス	15/24万円	ショート・6日間。ロング13日間。船室により料金は変動。
宮古島	10月上旬	"	"	未定	10万円位	新会員・初心者対象
石垣島	11月上旬	"	"	未定	10万円位	新会員・初心者対象
伊豆大島4ダイブ	9月7日～9日	宇留賀 達雄	197	グローバルスポーツ	40,000	延泊・オプション可、土日利用。ニタリに遭えるかも！！
沖縄・伊是名	7月5日～9日	"	"	パラダイスアイランダーズ	11万円	4泊5日6ダイブ全食付、延泊可、ダイバーが余り知らない秘境

SDCダイビング・リーダー連絡先一覧表

「やっぱり石垣島北部は凄かった！」

026 良縁寺悦子

3月15日、362番宮村さん、私と主人の三人で石垣島へ。「今の時期何もないよ」と云われたが……まあとにかく水温24度に誘われて行って來た。

初日のDVは贊助会員の店、G-FREEで2DIV。エントリーと同時に現れたのだ。“イソマグロ”1.5mクラスがぞろぞろ、その上にマンタが3枚悠々と登場。G-FREEさんの親切なガイドで小物、大物充分楽しめさせてくれた。B.Cは水中で受け取りますか?なんて云われてつい「ハイ」なんて云って、やはりシニアです、ホロリ。

樂々とエキジット。極めつけは2升ボトルの温水を一人に1本下さるのです。顔にかけたり、頭にかけたり、スーツの中に入れたりとってもホンワカ、幸せなDVでした。

3月16～17日、3月11日オープンのSDC会員の社領さん経営の「アクアガーデン」(1泊3食付¥8,000)、1200坪の敷地を贅沢に使ったペンションとDIV設備、そして明るく優しいご家族のもてなしに感激! DIVポイントも風向きに応じて潜れるポイントが近くに多くあり、ナポレオン・ニシキテグリ等がかなりの確率でみせてくれる。息子さんのガイドも好感が持てる。

近くにはマングローブの川があり、カヤック遊びもOK。前の浜へ釣りにご一緒させていただいた主人は、グルクン50匹、社領さんは何と6kgのカンパチを釣り上げ、その夜はお刺身食べ放題、美味かつた!宿泊者には石垣島内観光と石垣牛ステーキがサービスされるそうです。ベストシーズンに入ります。石垣北部2軒のショップ、お勧めです。

S D C ダイビングツアー参加確認書

(コピーしてご使用下さい)

今回のダイビングツアーは、各人が任意に自分の意志で参加されるものです。従ってダイビング中は勿論、往復旅行中も全て自己責任で処理するこが前提となっております。裏面の「クラブダイビングの方法」を良くお読みになり、この事項を確認、同意のサインをした上で、下記記入欄に必要事項を記入の上ファックス又は郵送にてリーダー宛お送りください。

同意署名

月 日より 月 日迄のツアेに参加致します。

年 月 日

参 加 者 氏 名		自 宅 住 所			電話・ファックス		
日本名							
ローマ字							
生 年 月 日	年 齢	取得 団体	ランク	経験 年数	経験本数	会員番号	男・女

緊急連絡先氏名		住 所		電 話
第1・				
第2・				

パスポート番号・取得年月日・有効残存期間・出発空港名（海外ツアेのみ）

希望条件（1人部屋・洋和室等）

SDC・ダイビングの方法

(1) 目的

クラブ活動の主なものは、会員が自主的にバディやグループを作り、ダイビングすることを支援するものです。その活動を円滑にするため、クラブでのダイビングが設定されています。

(2) 運営の原則

クラブ・ダイビングは安全優先と「自己責任」が原則です。リーダーは参加グループを確認する窓口の役割を持っていますが、旅程及びダイビング等ツアーに関する全ての事項に関して一切責任を負いません。ダイビングは全て自己責任であり、現地のガイドの指示によって行って下さい。

(3) 参加確認方法

参加確認は、クラブ規定の様式で行って下さい。それ以外の様式で参加を確認するには時は、次の項目を必ず記入して下さい。

- ① ツアー名
- ② 会員番号・参加者名
- ③ 経験本数・経験年数
- ④ 緊急連絡先の氏名と住所・電話番号
- ⑤ 同意署名

参加確認は手紙、ファックスなどで行い、電話だけでの確認は避けて下さい。参加確認の証拠が残らないと、トラブルの原因になります。

(4) 定員と締切日

定員は原則として8名としますが、増減出来ます。

締切日は定員に達したとき、又は2ヶ月前とします。

(5) ダイビング計画の条件

計画上の日程や概算費用は、あくまで暫定的なもので変更されることがありますのでご了承下さい。

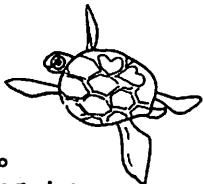
ダイビングに関する費用の支払いは、原則として旅行会社と参加者の間で行って下さい。リーダーに金銭上の負担をかけないようにして下さい。

リーダーは全てにおいてボランティアでやって頂いております。旅行社の人でも、添乗員でもありません。失礼の無いよう感謝の気持ちをお忘れのないようお願いします。

(6) レポート

リーダーは所定用紙による報告書を事務局に、又会報掲載用レポートをリーダー又はリーダーから指名された参加者はダイビング終了後、SDC広報担当に（写真添付）提出して下さい。

ダイビングしてますか？ 今年は何処に行きましょう？



◎今回の企画は当社のダイビングスタッフ同行のらくらくツアー。まだ仲間が居ない、少ない。

友人と時間が合わない。スキルに自信がない。1人、2人じゃつまらない。大井手の顔を見てみたい。

参加理由はなくとも構いませんが、めいっぱい樂しいピザ一つくります。ごいりこ・片サケをか?

◎最少催行人員は8名様を予定しています。また、現時点で航空運賃未定により一部は予定価格です。

6月12日(火)発		沖縄 瑠璃の産卵を見るツアー in 西表島
担当:大井手結花里		6日間 10ダイブ 朝5戻4夕5 178,000円 珊瑚博士こと「岩本哲男」の99パーセントの保証付き1ツアーレート10名様限定の名物企画の復活。一度は見てみたい誕生の神秘の一瞬。
6月28日(木)発		
担当:大井手結花里		水中楽園 メナド ドロップオフ満喫の旅 8日間 8ダイブ 朝6戻4夕4 166,000円 一昨年、シーラカンスが発見されたことで再び脚光を浴びたインドネシア・メナド魚類学者の涙する魚の種の宝庫は、10年前も今も変わりません。
8月10日(金)発		ベリーズ ウエーブダンサー ダイブクルーズ 10日間(船中6泊) 現地全食付き 500,000円 カリブ海有数の固有種天国ベリーズ。世界の海にダイブクルーズ船を配するピーターヒューズの「ダンサークルーズ」利用でワンランク上のクルーズを。
担当:工藤 幸子		
8月17日(金)発		ロンボク・モヨ・サトンダ ダイブクルーズ 9日間(船中6泊) 朝7戻5夕5 330,000円 全長130フィート 定員18名。優雅な帆船「シーサファリ号」で世界未開の地ヌサテンガラ諸島をめぐる旅。
担当:大井手結花里		
9月27日(木)発		沖縄 伊原間(イバルマ) 5日間 6ダイブ 朝4戻3夕4 148,000円 2000年にデビューした伊原間は、まだ沖縄にもこんな海が残っていた! という驚きの保証付き。30年前と変わらぬ沖縄がそこにあります。
担当:大井手結花里		
9月21日(金)発		ネイチャーアイランズ セイシェル 9日間 詳細後日 480,000円 太古のままに自然を残すターコイズブルーの海に生きる世界屈指の珊瑚礁。 ダイビング、野鳥、ゾウガメや双子椰子やクレオール文化に触れる旅。
担当:工藤 幸子		

まだ、「独り立ち」に自信がない方や
ステップアップコース、スキルアップを目指す方へ・・・

◎国内、海外の頼りになる信頼のインストラクターをご紹介いたします。また、何人かまとまれば、インストラクターやガイドのチャーターや出前サービスを手配いたします。ご相談ください。

～～～お問い合わせお申し込みは～～～

国土交通大臣登録旅行業第1284号

パイナップルツアーズ

(株) ビージュープランニング

電話:03-5458-5845 ファックス:03-3462-5076

e-mail:info@bjc.co.jp 担当:大井手結花里(おおいで ゆかり)

〒150-0021

東京都渋谷区恵比寿西1-10-6 恵比寿ツインズ602

SDC賛助会員のご紹介

*P.I.T ダイビングクラブ

千代田線の代々木上原駅に便利な会社があります。Cカード取得/ステップアップコース/リフレッシュコース/器材販売/器材メンテナンス/伊豆日帰りツアー/伊豆宿泊ツアー等...いわゆるダイビングショップとしての機能を持つ旅行会社です。

旅行会社としての特徴は、沖縄全島及び小笠原に精通している点です。『沖縄にダイビングをしに行きたい』というお客様の1本のお電話から.....

1. どの様な海をご希望
2. 何名様で
3. 何日間
4. 施設のご希望
5. 経験本数
6. 器材の有無 等をお聞きします。

通常のパッケージではなく、お客様とお話しをしながらご希望をお聞きして、お客様専用のパッケージをお創りしていきます。誰でも透明度が高く、魚影が濃く比較的空いていて、施設が充実している島をご希望されるのは当然のことです。しかしながら、ご自身の経験と現地の混雑状況や施設の問題等で100%ご満足いただけない場合もあります。この様なときこそ私たちの出番です。お客様のご希望の優先順位を勘案しながら、私どもからご提案させて下さい。

また『プランクがあり少し不安』な方のために、ダイビングプールや伊豆でのリフレッシュコース。『ウエットスーツと器材を買い換えたので試してみたい』『近々海に行くので.....』等、その為の伊豆半島ツアー（日帰り&宿泊）も少人数から実施しております。全員で7名、旅行部門4名/ダイビング部門3名 ダイビングと旅行が好きで集まったメンバーです。

なんなりとご相談下さい。

〒151-0066 渋谷区西原3-7-4 渡部ビル1F

TEL 03-3466-6489 FAX 03-3466-3870

<http://pit.wisnet.ne.jp>

travel@mail3.wisnet.ne.jp

旅行部門責任者：小林 健一

ダイビング部門責任者：雨尾 徹

*宮古島と24° NORTH

水と太陽の島 北緯24~25度に位置する宮古島は年間平均気温23度の亜熱帯の島。年間降雨量も約2200mmと多く、そのほとんどが地下水として貯えられています。ちなみにこの豊富な地下水は湧き水として流れ出、幻想的な水のマジックとしてダイバーの目を楽しませてくれます。

地形 宮古島諸島は隆起珊瑚礁からなり、永年の海

底隆起、沈降の繰り返しにより海底の地形はケープやアーチ、ドロップオフと様々な変化に富んでいます。

生物 海中の複雑な環境は、そこに住む生物も豊富にし、地形派ダイバーのみならず、フィッシュウォッチャー、カメラ・ビデオ派にも魅力的なフィールドとなっています。

アクセス 羽田から宮古島空港まで直行便があるのでなんとかたったの3時間。そう伊豆より近い沖縄とは宮古島のことだったのです。

24° NORTH は宮古島で初めてダイビングサービスを興したいわばダイビングシーンの先駆者。20年の実績と信頼を誇る老舗なのです。

海の見える明るい店内、本格的なダイビングプール、クラブハウス（宿泊施設）と充実施設が自慢です。スタッフは、男性ガイド・女性ガイド共に常駐。個性豊かな総勢10名のスタッフが楽しく海やダイビングのことは勿論、アフターダイブ、島での滞在中の全てをお手伝いいたします。

SDCへの特典 ・DIVEAGE CARD の入会金3千円が無料で、ポイントカードの特典が得られます。

・オフシーズン（10~5月、正月、GWを除く）に60歳以上の方に最大4名までの少人数制でガイドサービス致します。

〒906-0008 沖縄県平良市稻川取 220-5

Tel 09807-2-3107

*ナッソー

伊豆半島、富戸のスキューバサービスステーションSDC会員なら CLUB NASO の特典がオールクリア例えれば富戸、I.O.P が2ビーチガイド付で9,500円。1人でもマンツーマンで対応。スキルアップも常時平日受付。利用の際は会員番号の提示をお忘れなく。伊東市富戸 1194-2 Tel 0557-51-7400 (柳田満彦)

* *Y.A.Planning (保険代理店)

八百屋さんで大根を買うとき、皆さんはどうしていますか。手にとって、より新鮮なものを選びますよね。新車を購入するときには、カタログを取り寄せたり、試乗して自分の生活スタイルや好みに合った自動車を選んだりしませんか。保険も生活に密着した商品の一つである、と私は考えています。保険を買う時も手にとって自分のライフスタイルに合った商品を選んで欲しいと思っています。でも実際には「保険」と聞いた

SDC賛助会員のご紹介

だけで「保険はいいや」と尻込みしていたり、保険の見直しをしたくても具体的にはどうしたらいいのか分からない、とそのままになっていたりしませんか。

「保険のこと」をお客様と一緒に考えながら個々に合ったプランをご提案させて頂いております。

保険は大事なご家族を守るためにものでもあり、また自身の生活を守るものもあります。

一度ゆっくり保険のことをお話しませんか。お気軽に声をかけてみてください。

<http://www.intoss.com/YA/>

住友海上火災保険株式会社代理店

YAPlanning 新井良子

Eメール：arai@intoss.com

*~~株~~オーシャンダイビング

趣味で主だったところを潜っているうちに、1989年に、たどり着いたのがシバダンで、当時は全然知られていなく、客は私一人でした。その後仲間を連れて行くうち、ボルネオダイバーズから、総代理店契約書を提示され、サインしたのが運のつきで退職して旅行業を営むようになりました。その後色々な雑誌で取り上げられ、シバダンはメジャーなダイビングポイントになりましたが、不幸なことに昨年4月23日グリラに襲われ、訪れるダイバーが激減しましたが、水中は逆にとても良くなりました。

主な取扱いは、東マレーシア全般。バリのトランバン、インドネシアのメナド等です。新しいところを開拓していくと、航空便が飛ばなくなったりして、残念な状況が続いていますが、どこか良いところがないかと情報を集めています。よろしくお願ひします。

代表取締役：阪上 洋

江戸川区南葛西 5-4-15-409

TEL 03-3877-7351 FAX 03-3877-7352

E-mail:odc@wa2.so-net.ne.jp

*セントラルマリンクラブ

ダイビング～宮古島周辺の複雑な地形ポイントも楽しめマクロから大物まで見たい魚や潜りたいポイントなどの様々なリクエストも大歓迎。全長12mのダイビング専用ボートにはトイレ完備。ホテルのシェフが作る特性ランチは作りたての美味しさがとっても評判です。ホテル～繁華街の中心にあり、買い物や夕食にはとっても便利。お一人でも安心のシングルルームを多数用意し全室にアメニティーグッズ、冷蔵庫を完備で快適

にお過ごしいただけます。

〒906-0012 沖縄県平良市西里225番地

ミヤコセントラルホテル

セントラルマリンクラブ 竹内 修治

TEL 09807-3-2002

*G-FREE DIVING SERVICE

2000年4月に石垣島北部の伊原間を拠点にサービスを開始。これかが旬という NEW SPOT、伊原間。マンタは勿論、極美のサンゴ礁、大型回遊魚他海外にも負けず劣らずの海のラインアップです。

「もっとハイクオリティな1ダイブを」「至れり尽せりをあたりまえに・・・」をモットーに手付かずの海のポイント開拓やスタッフ教育にも力を入れております。今後も会員の皆様との交流・親睦を深めながら、より良いサービスを提供できますよう努めて参ります。

〒907-0332 沖縄県石垣市伊原間 26-29

TEL 09808-9-2191 FAX 09808-9-2191

代表 林 豊

*グローバルスポーツ

伊豆大島のダイビングサービス。

手作りのログハウスに手作りのデッキ。アフターダイブはコーヒー片手にロギング、充実のひとときをおすごしください。

スタッフ紹介：

星野修：'66年生まれの29歳？？デザイン学校を出でても今は、ダイビング屋さん。グローバルに入社して、もう6年。ガイドのポリシーはナチュラルでワイドなダイビング。愛称「ホッシー」新潟県出身、A型。

荻島浩二：伊豆大島を南の島と思って疑わない私、皆さんにリゾート気分を満喫して貰うのがモットー。愛称「オギりん」埼玉県出身、A型。

有馬啓人：大学卒業後、大島の海の魅力に取り付かれ親の制止を振り切り大島へ。時間があれば魚の図鑑を開いて勉強中（魚オタクじゃないですよ）

西谷香奈：以前はガイドもしていましたが、最近はもっぱら陸仕事に専念。大島に来てくださった方々のアフターダイブに、鳥や植物・きれいな風景を楽しんでいただきたくて、今はネタ探しと勉強をしているところです。

〒100-0101 大島町元町北野 1-74

TEL 04992-2-1966 FAX 04992-2-3914



バリに魅せられて

122 長嶺 緑

先日、1/27～2/5 10日間娘2人と女3人バリ島へ行って来ました。

今回で3度目ですが、私達はすっかりこの島に魅せられてしまいました。

「バリなんて」と思っていた私の眼から鱗とはこの事だと驚き、以前はハワイやオーストラリアで留学中の娘達と合流していましたが、3年前から、バリ島での待ち合わせが楽しみになりました。

食べ物もおいしくて、何もかもが安い！！ファッションや絵画、インテリア用品に至るまで全てが私達の好みに合った所は今までなかった。

そして、なんと言っても人々が、純朴でちょっとシャイな若者や田園風景等は、昔懐かしい日本を見る様な気がする。

もっとも、クタのような繁華街にいる若者は違うが…。バリ人として誇りを持っている彼らも口々に「悪いことをするのは、バリ人じゃあないんだ。他の島から利益を得ようとする奴らが入って来るので、僕たちも心痛めているんだ」と憤慨している。

今回はヌサドゥアにまずは宿泊し、安い衣料品や雑貨、絵画（あくまでも安物）、インテリア用品等を買い込んだ。この時とばかりに値切る楽しさも味わえる。「これだからアジアはいいよねえ」と自己満足。

本当は家具も全部買って帰りたいところだが、せめて家の飾りはバリ風にと、色々見て回った。

海外でよくアジアの物を高く売っているのを見ると、馬鹿馬鹿しくなる。

その後ムンジャンガン ミンピリゾートへ向かった。多くのスタッフが私達との再会を喜んでくれた。私達が一番会いたかった彼の名は「プトゥ・スケレネス：通称レネス：日本名 薫君」小さい頃の息子に似ているので娘達も「薰君」と兄の名前をつけ、すっかり仲良しになっていた。年も偶然同じだった。何回か手紙のやり取りはしていたが、久しぶりの再会を楽しみにしてくれ、私達は抱き合い喜び合った。

真面目で努力家の彼は、レストランの1ボイからスーパーバイザーに昇進しており、うれしそうに話す姿が1段と頼もしく見えた。約1年半の間に、ホテルに起きた事、また彼の家族の話等ヒンドゥ教の人達の暮らしや文化にも興味を持っている私達には、どれも彼の話は新鮮で、毎晩色々な話をした。



最後の夜、ギタ一片手にライブをやってくれ、前回同様皆で歌ったり踊ったりと大騒ぎをした。皆とても歌がうまく、とりわけインドネシアの歌は素晴らしく私たちの心を打った。数人でケチャもやってくれ、深夜まで楽しんだ。

レストランからビレッジまでの細長い道を、星空を眺めながら歩き、「今度いつ来るのか？」と尋ねられ「いつかわからない」と答えると、彼は元気がなくなり 部屋の前まで来ると、突然泣き出しました。

男泣きの彼の肩を抱き、私達は思わず今年の11月か12月に必ず来るからと 約束をしていた。

彼は私達を家族の様に思い、「今度来た時は、自分も休みを取り家族に会わせ、色々な所へ連れて行ってあげたい」と熱く語ってくれ、娘も泣き顔になっていた。

今自分が置かれている身は非常に厳しく睡眠と疲れで、みるみる痩せてしまったようだ。

「元気で頑張ってね！！」と 励まし後ろ髪を引かれるような気持ちでホテルを後にした。

「私も頑張って仕事して、早くここに戻って来よう」と心に決め帰国しました。これからも当分バリ通いが続きそうです。

p.s. 今回は結局ダイビングはしませんでしたが、バリの海は本当に珍種、奇種だらけでおもしろいですよ。それと、飛行機の機内預け荷物はスポーツ用品（ダイビング、サーフボード等）は別にしてあれば、免除してくれます。実は帰りその中はお土産だらけだったのですが、OKでした。

「ダイビング徒然」(その1)

124 高木 元子

潜ることの魅力？それは魚というより鳥になつたワ・タ・シを体験できるあの浮遊感！大物小物のウォッチングも楽しいけれど、初めての体験ダイビングで根のてっぺんから隣の根に移動する時、鳥みたいに飛び移ったあの感激が、忘れられません。

それで早速Cカード取得に挑戦。9年前の冬でした。「命を守るには、簡単にカードを取らせちゃならぬ。みっちりプール、海洋講習やってやる！」と言う鬼教官の下で死ぬ思いの（命を守るんじゃないのか？）シゴキの講習開始。水温15℃以下、スーツはウェット、暖をとるのは浜での焚き火だけ、風をさえぎる屏もシャワーもない真鶴は酷寒の琴が浜。他所を知らないから、耐寒訓練のような講習もこんなものなのねと耐えました。そうやって手にしたCカード、よくやったと自分を誉めてあげたいくらい。ま、そのお陰か、水温15℃まではウェットで頑張れる（はず・・・多分）。



ところで、最近の冬場は100%ドライなんですね。それで淋しい思いをした事があります。

数年前の年の暮、潜り納めで1本あがって気づいたのは、居合わせた30人ほどの中でウェットなのは私だけ。2本目に冷たく濡れたスーツに足を突っ込んだ時のわびしさ・・・ビンボーを恨みました。

そこで一念発起、ドライスーツをもらうことに。着用回数2回、新品同様の手動バルブのスーツ。オートが普通なのに手動だよ、こちらは年季（年齢）が違うんだいと意気がっていたのですが、大きな悲しい問題にぶち当たり（聞きたい？）、そのスーツは廃棄処分。新しいスーツ購入の目途も、譲ってくれる人もないため、私のレギュには、その時の名残のドライ用ホースがぶらぶらしてドライスーツとの結合を待っています。

そんなこんなで、冬場の潜りはやっぱり冷たく、冬は海から遠のきじっと冬眠しています。春よ早く来い。

（10号につづく）

伊豆 西・東

026 良縁寺 悅子

2000.10.23

西 朝から小雨、品川駅6:40出発の頃には本降りに。「どうせ水の中だもの平気さ」等と強がりを云いながら宇佐美駅定時に全員集合。さあ出発。雨はますます本降りに。

始めて潜る黄金崎。1.5時間で美しいビーチへ到着。新しい設備、ジャグジーの露天風呂云うことなし・・・がますます土砂降り。ダンズさんの美代子さんの親切なガイドで2タンク無事終了。しかしこの海のダイビングはウエイトを多めにしないと大変だ。

浮く事浮く事、手当たり次第に石を拾ってやっと中性浮力を取っていた、未だ未だ未熟な私。またきっとトライしよう！

晴れた日は富士山がバッチリ見えるとの事。

参加者：佐藤・板川・宇留賀・狩野・塚田・栗源・良縁寺 リーダー：狩野幸繁（水温21度）

2000.11.26

東 昨日とは打って変わってすごい晴天。伊東ポートDV。ショップはナッソーさん。水温も下がってきて19度。

今日はフジTVの取材だ。9時現地に着くと既にTV局のスタッフは大きな水中カメラを用意して待っていた。タイトルは「寒中ダイバーズ」70歳以上の会員を撮りたいとの事だったが、結局協力して下さったのは60歳台3名、50歳台2名、40歳台1名。TV局では若過ぎると云っていたが嬉しいやら困るやら。星は晴天の下「大きなおにぎり」（現地で作ってくれた）を食べたり大きな亀の出現とイサキの子供の群れ等で結構楽しい映像が撮れたとの事。当会には時々取材の申し込みがあるようです。新聞やTVに出たい方是非事務局へ、連絡くださいね。

協力者：三宅尚、関根一男、鈴木ヒロ子、栗本はるみ、千徳征秀、良縁寺悦子



Bula! ブラ!

フィジー・マナ島ツアー

2000.11.13~20 023 山岸 雅

成田から8時間30分、フィジー諸島共和国ナンディ空港、そして船で1時間、聖なる島と言われるマナ島の広大なリゾートに、我がヤングメンバー10名。

そこは日本人スタッフはもとより、黒くて大きなフィジーの人達が、行き交うたびに優しく「Bula!（こんにちは）」と声を掛けてくれる。椰子の実がたわわに実り、マンゴー、バナナの生い茂る道沿いに、設備の充実したコテージが点在する。それだけにダイブショップまでは少しばかり歩かねばならないが、準備運動と考えれば良い。ほとんどがボートで10分ぐらいいのポイントで、ドロップオフに沿って回遊する。初日2本目に、我々をガイドしてくれたクッキーさんのシャークショーがあった。他のボートも数隻集まり、40~50人のダイバーが岩にしがみついて見守る中、彼が手に持ったマグロの頭めがけて10数頭のサメが寄ってきてカブリつく。リーダー関川会長のお話によると、昨年まではクッキーの義父の亡くなったアピ氏が主演し、手なずけたサメにつかまって観衆の目の前を泳ぎ、サメとの信頼関係を見せつける素晴らしいショーだったとのこと。最近復活させ、先代のように行かないまでも、結構迫力ある10数分だった。ショーの後、回ったドロップオフの下を見ると大型のサメが、上にはバラクーダが群れをなしていた。今回、若狭夫人と山岸が200本、西田さんのお嬢さんが頑張って100本記念を達成し、ダイブショップの方から記念品やギターと歌も出て、皆さんからお祝いをされた。夕食に向かう我々に、椰子の葉陰に真っ赤な夕焼けが映え、食後は満天の星空で流れ星も長い尾を引いて見せてくれた。アツという間の8日間、ビデオを撮りながら、バディの中性浮力に気を配ったり、いろいろご配慮下さったリーダー関川さんはじめ、楽しい思い出をつくって下さった皆さんに深く感謝申し上げます。

参加者：関川清一 上村敏郎 若狭英彦 若狭智京 西田和子 西田幸代 高島良子 相馬かほる 山岸秀香 山岸雅



二十一世紀初ダイブ グアム

ダイビングに出かけるのに、知り合いかに電話して尋ねて見ましたが、結局また一人で出かけることになりました。グアムから帰って、次のダイビングに出かけることを考えました。クラブツアーにまだ一度も参加したことがないので、ちょうどフィリピン・ドウマゲットイが三月十五日より実施されると云うことで、リーダー様に急遽ファックスさせていただきましたが、締切られていきました。二ヶ月前に申し込まないとダメなのです。仕事の都合をつけていると、二ヶ月前というのが、なかなかきついのです。残念でした。今後とも何かとお世話になりますが宜しくお願ひいたします。

三〇六 宮本節子

21世紀初ダイブは、寒い日本を脱出して真夏のグアムへ行きました。性懲りもなく一人で。宿泊はホリデープラザホテル、ショップはホテル内にあるジェンリーブルー。

午前中に2ダイブ終了、船上にて昼食をとり港に戻るというパターンなので、午後からもう1ダイブと毎日3ダイブしました。ポイントは「ブルーホール」「ハップスリーフ」「ボムホール」「クレパス」「ウエスタンショール」「ガンビーチ」。天候晴れ、気温29~29.6度、透明度20~25m、透視度30~35m。

どこまでも抜けるようなブルー、青い海、青い空、きれいな白い砂地、地形も良かったし、マクロからワイドまで多くの魚たちも見られたり、ビーチも結構透明度が良く、久しぶりに満足のいくダイブとなりました。

ヒーリングダイブと言った感じです。

今回はカメラを持たずにダイビングしたので、カメラを持って潜っている時より何か全体を見回せ、ポカンと浮いていることの楽しさ・喜びを実感し、本当に癒されたと言う思いでいっぱいでした。また、ランク別でダイブさせていただいたのでゆっくりと楽しめました。

毎晩ホテルロード沿いを散策しながら、淋しい夕食をしていましたが、最後の日は一緒に潜った仲間達総勢16名で夕食となり、円卓を囲み賑やかなひと時となり、(ちなみにPICの前の中華料理「VIP」と言うお店)話も盛り上がりまたこのメンバーで潜ることが出来たら…と、お別れしました。

シニアの為の「安全潜水」講座 第5回

NAUI インストラクター 030 杉本 信也

『ダウンカレント』

<突然巻き込まれる>

エアーエンボリズム、減圧症、行方不明、エアーアレ等の潜水事故よく耳にする。今回は、これら結果として表現されている事故の背景や、遠因になっている「ダウンカレント」について論じ、注意を喚起したいと思う。或る日、突然、貴方も「ダウンカレント」に巻き込まれるかもしれないし、そうならない為にも、以下の事例を参考にして頂き、心構えて頂ければ幸いである。

<事故例>

'99年10月15日の神子元島の潜水事故は、まだ記憶に新しい。ビデオ撮影していたプロカメラマンら3人がダウンカレントに巻き込まれた事故である。カメラマンはエンボで死亡、ベテランのダイブマスターは水深46mより深く引き込まれて行方不明、1人はエアーを切らせながらも助かった。浮上中15mのところでダウンカレントに遭遇したと言う。この事故は「ダウンカレント」により、上述のエンボ、行方不明、エアーアレの夫々の結果となってしまった。

<会員も遭遇している>

当クラブの会員も海外ツアーで「ダウンカレント」に遭遇している。初心者からベテランのツアーであるが、気がつかないまま終わっている人もいる。後で聞いてゾットしたという。50m以上引き込まれていた。このような話をすると、それらしい状況に遭った人たちが以外に多いのに驚く。「ダウンカレント」が急激に起こったか、穏やかであったかの違いで事故になるか、ヒヤリ話で終わるかであろう。

<ダウンカレントは如何にして起こるか!>

専門家ではないので断定は出来ないが、経験や状況から見て、潮の流れの有るところでは、海底の地形によっては、何処でも起こりうるといつても良い。流れの速い川では、川幅が広くなる所は、流れが岸側に淀むが、これを縦にして考えてみれば、流れが下方に向くのは同じように類推することが出来る。つまり地形が深場に落ち込むところでは「ダウンカレント」が発生するのは当然の現象といえる。潮の流れを左右しているのは、潮の干満大小の他、黒潮のような海流が大きく影響している。上述の事故も、何時もの潮の流れに加えて、黒潮の接近により、その亜流が影響した。伊豆

諸島や南伊豆では南方系の魚が入れ食いになったり、流れが速すぎて釣りにならなかったりして、いつもとは違っていた。

また、昨年は宮崎県都井の岬の「黄金の瀬」は、黒潮の接近で、川のように波打って流れている。その為ダイビング警報が出ていた。単なる流れであれば、ドリフトも愉しめるが、海底の地形によっては恐ろしいダウンカレントもあることに注意したい。

<対処法>

これは絶対的ではないが、対処法が考えられる。

- 1、事前に海の中の情報を取る。地域の潮の流れや海中のことは、地元のガイドや漁業関係者に聞いて、状況を把握しておく。
- 2、流れを避ける為、横へ逃げる。リップカレントの対処法と同じ。
- 3、近くに岩や珊瑚があれば、それに掴まり身体を固定する。
- 4、両手を使える状態にする。カメラなどは捨てるか、フックする。
- 5、自分の水中での位置を確認する。深さ、流れ方向(吐く泡で確かめる)。流れの速いところでは地形により(凸部)吹き上げもある。
- 6、強い引き込みに対しては、ウエイトを捨て、BCを膨らませる。ただし浮上速度が速くなってきたら、エアーを抜いて速度を調整する。上述の如くエンボにならない様に注意する。

<むすび>

Marine photo誌はテーマに付き「君子危うきに近寄らず」のことわざを引き、安全な海を選ぶ様、注意を喚起している。

今回の引用した事例で、重要な事は、日常的な潮汐による事故と見るより、その遠因となっている海流(黒潮)の影響が大きかったことである。海流の状況や潮汐は、きわめて重要な要因になるので、結びに当たって、日本近海の状況を提供している機関を紹介し、活用を促したいと思う。

出典：「Marine Photo」5月号、2000年

特別企画：神子元島の潜水事故レポート

リポート／鷲尾 統一郎

附記：海上保安庁水路部海洋調査課

TEL : 03-3541-3814

E-mail : knsoku@cue.jhd.go.jp

印刷物の提供

東京都中央区築地5-3-1

海上保安庁水路部庁舎内

日本水路協会 海洋情報室

TEL : 03-5565-1287

FAX : 03-3543-2349

<http://www.jhd.go.jp/cue/KAIYO/ocf/2000/>

グレートバリアリーフ・ケアンズセクション・ダイビングツアー

2001年1月18日(木)~1月23日(火)6日間

レポート： 365 立花佐知子

昨年4月SDCに入会して、会員の方々と海外の色々な海で、ダイビングを楽しもうと思いましたが、会報を読みクラブツアーのリーダーへ連絡するときになって私のような本数の少ない未熟者が参加し、皆様に迷惑をかけないかと心配になり、なかなか電話が出来ず迷いに迷い、ついに出発1ヶ月前となり、思い切ってリーダーへ電話をしました。ところが既に手配完了、参加者16名、取り扱い旅行社へ追加手配するが無理かもしれない、1~2日後に連絡するとの返事でした。普通の旅行の積もりで1ヶ月ぐらいに申し込めば良いだろうと思っていたのが、間違いでした。参加無理といわれると無性に行きたくなるもので、こんなに返事が待ち遠しかったことはありませんでした。

翌々日参加OKの電話があり、ヤッタと喜びましたが、今度は潜るのが心配となり出しましたが、参加者のうち経験の多い二人がバディで付いてくれるので少し安心しました。

出発前夜は、子供の遠足のように興奮し寝不足。翌朝食事も早々、遅れては一大事と成田空港へ――。

時は紀元2001年1月18日成田空港搭乗、12名、今までに飛び立たん世界遺産グレートバリアリーフ・ケアンズ・オーストラリアへと、厳寒の日本を脱出、そして真夏の国へ、不安と期待の初参加。名古屋空港搭乗組4名とグアム空港で合流、ケアンズ到着19日0時10分、そして深夜ホテル就眠3時過ぎ、明朝いや今朝より3日間6ダイブ、寝たのかどうか分からぬまま船上の人となり、サクソンリーフまで2時間余り、やっと待っていたGBRでダイビングの筈が「やはり来なければ良かった」という想いに変わって行く。船酔い・波酔い・腰痛・バディとの潜水、プレッシャーに苦しむわが身を思いつつも果て無き夢に憧れて、ここまで来てしまった。

“海よこの身を如何せん”1ダイブ目ポイント、コーラルガーデン、世界遺産のGBRはどんなに珊瑚が美しかろう？その期待は見事に裏切られた。死んでいる。何処もかしこも。コーラル・デッドガーデンでした。こんなGBRに誰がした？「珍しい魚が一杯いた？」いえいえ魚よりバディを見続ける時間のほうが多いかった。

船酔い・波酔いのおさまったダイブ目、少しづつですが落ち着いてダイビングしている自分自身に気づいていました。

2日目、まわりの人とも親しく雑談し、大分リラックスしてきた筈なのにジャイアントエントリー時には、

まだまだ胸の高鳴りは続き、先に入水したバディより声あり「レギュレターくわえてないよっ」「ひえっ・・・」落ち着いてきた筈なのに“さあ飛び込むぞ”その時世話をしてくれた外人さん「ワタシノテヲ・ハナシテクダサイ」マスクを押さえているはずの手は、ぎゅっとその方の手を握っていました。少し余裕が出てきた頃、バディの中世浮力の取り方に注目し見習を心掛け、バディとの距離も確保できるようになり、グループの人達が魚の写真を撮る時、「あつ魚がいるんだ」と近寄ってみる余裕が出てきました。



そしてナポレオンなるものを見た時は「わおっ本当にいるんだ！」あれは雑誌のグラビア用と思っていたものを、素手で撫ぜた事、帰って皆に言っても信じてくれないかもね。

3日目、今日はレギをくわえて飛び込む寸前、あらあら、息が出来ないワン「すみませーん誰かタンクのバルブを開けてくださーい」よく落ち着いて気がつく自分がいました。昨日までは残圧計なんか飛び込む前に見たことなんかなかったのです。本日亀と遭遇、現代の亀は昔の亀と違って「どこへも連れて行ってくれません」とガイドが行っていた通り動かず唯々じいつとしていました。白砂に隠れていたヤッコエイ発見(私ではない)大きな目だけギョロギョロ。今日でナポレオンとお別れか、私はカメラを持っていないから良く見ておこう。落ち着いて良く見れば、色のカラフルな魚がいっぱいいますね。初日はこれが見えなかつたほど緊張していたんだ。こんな魚誰か食べたことあるのかな、もっぱら観賞用、名前覚えられないのは年のせい？あっという間に3日間6ダイブ無事終了。まあ、最初の日とこんなに違う我が身の変化に驚きながらそのままうとうと…。夢は海中で魚の群れと戯れ楽

しむ我が身を思いつつ、いつか描かんその舞姿。1月22日もう帰るの、いやいや未だ時間は充分ありました。帰りの飛行機は明日朝1時10分発空港へは今日夜11時に着けばよい。昼食後2時より市内観光。しかしケアンズ市内は余りにも狭い。車で1時間も回れば終わってしまう。今日も快晴、とにかく暑い。クーラーの効いた涼しいところへ行こう。ガイドの勧めでジャプカイ・アボリジ・カルチャーパークへ、オーストラリア原住民の舞踊及び歴史映画見学、舞踊は皆さん熱心に見たが、映画館はクーラーが程よく効いており暗く、イヤホーンで映画開始前に原住民の音楽を聞いている内に居眠り、何かのトラブルでかなりの間映写できず、照明がついた途端目が覚め、終わったと勘違いし出口へ行こうとして止められ大笑い。

夕食は日本食美味しい会席料理は無理だろうが、かなり期待してレストランへ向かう。和牛いや豪牛の刺身、つぎに土鍋が出てくる。寄鍋である。この暑いのにどうゆう感覚か。後は巻き寿司に鳥のから揚げ、まあ取り合わせはどうであれ、日本食に間違いないし。食べてみれば、まあまあであった。休憩後空港へチェックイン。搭乗待ち時間の間空港ベンチで眠るゆとりも出てきました。

リーダー以下15名無事帰国。

新世紀の初ダイブ、初心者の私が楽しめたのも皆様のお陰と、心よりお礼申し上げます。又このような同年・同趣味の方々と楽しくダイビング出来るクラブへ加入させていただいたことを感謝いたします。

(参加者) 坂東正朗・石田邦明・小菅かづこ・佐竹綾子・宮澤尚子・原勝代・鈴木誠也・長野恭子・河原信子・吉崎和子・永松輝夫・石岡弘至・今井征二・小野忠雄・立花佐和子・前田浩二(リーダー)

一人旅ダイブで感じたこと(沖縄本部)

11月17日~20日

306 宮本節子

いつものごとく急な休暇。肌寒いけれど沖縄なら未だ大丈夫かなと思い、本島の本部へ行きました。空港からも飛ぶまで片道約3時間。天候は雨こそ降りませんでしたが、風が少し強く吹き始め、水温も少し下がりました。水温24.6度、気温26度。お陰でポイントも限定される始末です。白化現象でペキペキのサンゴは見られず、はたまた大物も見られず、唯一大きいものと言えばヤッコエイ位。マクロ系生物(ネジリンボウ・シロクロベラ・アケボノハゼ・ミヤケテングリ・リュウグウベラギンポ等)のガイド案内となる。それも最大水深44メートルを超えてのダイブ。行った先のショップのインストラとリピーターとの個人プレーに付き合わされた形となり、そこまで潜れば、珍しい生物(マクロ系)が見られるということで。一人なのでガイドについて行くほかなく、コンピューターには減圧停止時間は出るしハラハラドキドキひたすら減圧のために10分以上も停止し、そこまでして潜らなくてもと、少し疑問に感じました。海底は白くきれいな砂地で、砂地に多く生息する生物を見られましたが…。バディと一緒になら船の下あたりで潜っていますと言えたかな?とも思いました。ダイビングが終わってその日のログ付けをし、やっと食事時間に(午後8時半頃)。でも近くに食事するところがなく、回りも真っ暗。一人出歩いていけるような状態ではなく困りました。やっぱり最低でも二人で来ないとね…と痛感させられました。海の中でも、陸でも、会話が楽しめないものね!そして、飛行機搭乗時間のぎりぎりまで、コンピューターの飛行搭乗までの時間を示す数字が消えなかつたこと、これも怖かったです。レクレーションダイビングと言うものから大きく外れるようなダイブだったような気がします。



ダイビング四方山話

思い起こせば今から十数年前の四十台なかばを迎えたある日、このまま人生を終えても悔いは残らないのかな?との素朴な疑問から始めたダイビング。最初の五年程は海外駐在員と言う特権?をフルに生かして紅海、地中海及びインド洋と潜りまくり、その後日本に帰つてからは万年金欠病に罹つて十年弱ダイビングから遠ざかり昨年から再開したものの往年の勘夷らず未だにバタバタしている訳ですが、会社なんぞ向するものぞ。オレはこれからダイビングで生きるぞ等とホザイテ仕事をホップリたして狂いまわつていた当時の経験談をふたつほどご披露しましよう。

皆様にお楽しみ戴ければいいのですが??!!

一四六 窪田 積

トピック その1 「ちょっと辛かった話」

1988年当時、私は某社の中東駐在員の一人としてアラビア半島の東端に位置するオマーンに家族帶同で赴任しておりました。この年もあと旬日で暮れると言う12月のある日、天気も好いし久しぶりに家族サービスをする絶好の機会とばかりにカミサンと娘を連れて、2人はビーチキャンピング、一方の私はダイビングと馴染みのダイビングショップのボートで勇んで無人島へと出かけた訳です。

ところが午前中あれだけ晴れ上がって穏やかだった天候が午後になって急変、帰港すべく内海から外海へ乗り出してはみたものの突風と荒波で海面は真っ白に泡立ち逆巻いている有様。

慌てて内海に戻るべくボートを反転させたものの3メーターを超す大波に叩かれ、あつと言う間もなくボートは転覆。運悪くこのボートに乗っていた10人は大波が荒れ狂う海に投げ出されたわけです。

ライフジャケットは全員が身に付けてはおりましたものの、今となっては記憶が定かではありませんが約30分くらいだったでしょうか、全員が突風と大波が荒れ狂う海面で翻弄されている内に幸いにも付近を通りかかった2~3隻のボートからの必死の救助で拾い上げられて大事に至らなかったのですが、その際、私共一家3人を含めた数人はオマーン人漁師の小さなボートに拾わされて事なきを得た訳です。

翌日、その小さなボートに拾い上げられた人数を家族と確認してみると、どうしても1人計算が合わない。そこでヨクヨク娘に事情を聞いてみると、その小さなボートに私が最後に乗り込もうとした際にボートが大きく傾き転覆しかかった為に、既に乗り込んでいたイギリス人男性1人が荒れ狂う海に又飛び込んだとの事。この話を聞いた時に私が受けたショックと、その後

に落ち込んだ猛烈な自己嫌悪は容易にご想像戴けるでしょう。人間としてのスケールと鍛えが違いますね!この男性も含めて全員が救助されたのがせめてもの救いとは言え、その日事情も判らないまま充分に言葉を交す事もなく別れた男性の事が気になって一晩中悶々とした翌朝早々、ダイビングショップに駆けつけて男性の所在を尋ねたところ、イギリスからの旅行者で事故の翌日つまり前日帰国したとの事。

慌ててイギリス大使館に問い合わせたものの全く手懸かりがないまま、今日に至っているわけです。ダイビングと言う遊びを通してであれ、難事に際しての日頃からのお心構えと人間としての生き方を問い合わせられた出来事でした。

トピック その2

「嬉しかったけれどもちょっとせつなかつた話」

1991年9月に私はキプロスでインストラクターテストに合格した訳ですが頭の禿げ上がった受験生、しかもアジアからは私1人だけで残り全員が20代前半の見るからに格好の良い白人の若者ばかり。

最初、彼らは私をPADIの本部から派遣された事務方のひとりと思っていたらしいのですが、私も受験生の一人と知った時の彼らの啞然・呆然とした表情を皆さんには是非お見せしたかったですね!

ペーパーテストから実技テストに進むにつれ、私の実力が認められてきたせいか仲間のひとりとして受け入れてはもらったものの、予想していた通り体力不足は覆うべきもなくフィンをつけてとは言え風と波の影響を受けながら海面800ヤードを17分で泳ぎきるテストの第一日目はあえなく失敗、再度チャレンジの権利はあるものの所詮無理と判断して権利放棄を申し出ようとしていた矢先、私の様子を心配そうに見守っていた受験生達が集まって即席応援団を結成してくれた上に、その中でひとりのイタリア人の若者が泳ぎのペースメーカーを買って出てくれた訳です。

この国際色豊かな即席応援団の大支援とイタリア人若者の侠気のお陰で16分54秒と言うギリギリの線で辛うじて合格でできた訳ですが、試験官が親指を大きく天に突き上げて合格のサインを出したのを見た瞬間に私の涙が止まらなくなった事、又時を同じくして浜辺で沸き起つた歓声を私は生涯忘ることは無いでしょう。直後に行われた合格証明書授与式で、蒼く澄んだ海、輝く太陽と雲ひとつない晴れた空を求めて気軽に世界中を動き回れるパスポートとも言えるインストラクターライセンスを手にして明るくハシャグ屈託のない若者たち!オートバイの後部座席にガールフレンドを乗せて走り去る彼ら!彼等より30年遅れて手にしたライセンスを前に物思いに沈む私!

過ぎ去った遠い日々、さっぱり縁のなかった青春の切なくも甘い思い出、いつの頃からか連絡が取れなくなった懐かしい幼馴染の顔——すべてが走馬灯のように脳裏を駆け巡った一瞬!!!

南の島、石垣島の快適な暮らし

269 社領 孝

AQA GARDEN

私は、15年前の正月休みに、石垣島へ観光に行きました。そして1月なのにも暖かい所だと感じ定年後はここで生活したいなと思い、翌年土地を取得し今回私も60歳になるので思い切って移住してしまいました。ダイビングや釣りは1年中OKですが、困った事に同じ趣味の友人がいないのです。これは私にとって大問題で、そこで思いついたのがペンション&ダイビングの施設を作り皆様に遊びに来て頂けたらと思い、この度AQUA GARDENを3月末にOPENする事になりました。海まで徒歩4分近くにマングローブ林などもあり自然環境にも恵まれております。砂浜にはほとんど人がいないのでプライベートビーチのようです。ダイビングを始めて5年、シニアクラブに入会させて頂き3年、ダイビングを通じて多くの人に出会い楽しく遊ばせて頂きました。これからもダイビングや釣りなど同じ趣味を持つ方々と一緒に人生をエンジョイして行きたいと思います。澄んだ空気と青い海、石垣島に是非遊びに来てください、お待ちしております。

見所 瑞珊瑚が美しい平久保崎周辺

川平石崎のマンタ

いろいろな魚の見られる米原Wリーフ

AQA GARDEN・石垣島ツアー

SDC会員向手軽な石垣島ツアーを企画しました。AQA GARDEN(社領孝)でも結構ですし、026良縁寺悦子さんが東京での窓口を引き受けてくれています。気軽にお問い合わせください。

日程

5月14日～17日	6月18日～21日
7月09日～12日	8月20日～23日
9月17日～20日	10月15日～18日
11月05日～08日	3泊4日4ダイブ付

概算費用 97,000円
(航空運賃はシーズン、月・日により変動)

AQA GARDEN
沖縄県石垣市字浮海337-23
TEL 09808-9-2152 FAX 09808-9-2158
Email a-g337@sirius.ocn.ne.jp

東京窓口：026 良縁寺悦子

AQUA GARDEN

ペンション・アクアガーデンは、石垣島北部に位置し、海まで徒歩5分。またマングローブの森などが近くにあり、自然環境に恵まれたところにあります。

また客室は全室洋室TV・エアコン付(無料)をご用意させていただきました。

1本のみ 8000

3本から 5000

料金表(税別)

ペンション	御1名様(1泊2食付)
2名1室	¥8,000
3名1室	¥8,000
6名1室	¥7,200

ダイビング	
宿泊パック	¥18,000(1泊2DIVE付)
宿泊体験パック	¥20,000(1泊体験ダイビング付)
ファンダイビング	¥12,000(ランチ付)

Tax 9%

* ペンション又はダイビングパック1名様ご利用は+1,000円となります。(小学生以下はお断り)



フレンチル 1月 4,500

Bcaut ...高いので...フレンチ

掲示板

9号完成を祝う「飲み会」のお知らせ
誰でも気楽に来て下さい。
詳細は追ってお知らせいたしますが予定としては
日時：5月11日17時30分～21時（19時位までに来れる方）
場所：センチュリーハイアット27階（新宿）
　　＜ラブソディー＞
会費：5,000円
希望者は、5月7日迄に197 宇留賀さんへ連絡ください。

006 大隅照子

<HP掲示板より>

楽しかったー！！

会報8号の掲示板に「完成を喜ぶ集い」が出ました。それがこのような集まりになったのです。タイミングよく（？）石田さんの退職記念と重なり、場は一層盛り上りました。良縁寺さんが会場を見つけてくれて、宇留賀さんが仕切ってくれて私はただ騒いで、楽しんで。。。この日もSDCに入っている幸せを感じました。皆さん是非次回は来て下さいね。会報が出たら「その記念」と言う名目で集まるただの飲み会です。（無料の「タダ」ではありません）人生、ここまで生きてきた人のお話はとても面白く。貴重です。 006 てるてる

<HP掲示板より>

懇親会楽しかったですね、（^O^）

SDCのメンバー4人がダイビングフェスティバルを見学の後、新宿西口の某ホテルの27階で他の5人のメンバーと合流して懇親会を行ないました。美味しいお酒、美味しい料理、最高の雰囲気にみんな大満足。その中でも前日（2月15日）にサラリーマン生活を無事に卒業した小生（コリドラス）は皆さん達から心のこもったお祝いを頂いて、感激しました。有難うございました。

新年会や総会だけではなく、こんな機会（懇親会）が定期的にあったら嬉しいなあと思ったんですけど。。。事務局の皆さん。

056 コリドラス

<HP掲示板より>

又飲りましょう

8号会報に匿名希望さんが「飲み会」を呼びかけ、期限までに誰からの連絡も無く、こりやーボツだと思っていました。それが急に9名もの参加者を得て良い仲間、良い場所、良い酒と肴を得て、楽しい楽しいタベを過ごすことが出来ました。又是非開催したいと思います。

今度はもっと希望を聞きながら、工夫を加えて、なんて考えています。

あまり盛大だと新年会・総会の影が薄くなってしまいかねませんけど。。。

197 URU-PON

アオリイカの産卵観察

本年度のSDCのダイビング計画の一環として、「アオリイカの産卵観察」というテーマでダイビング計画を組みました。時期は6月下旬から7月中旬までの期間で産卵の最盛期を狙って実施したいと考えています。ダイバーが大勢入っているとなかなか見られないで、平日の空いている時にします。

ポイントは「富戸」か「海洋公園」で、日帰りです。初心者の方も歓迎です。

幻想的な素晴らしいシーンを見るのは是非、ご覧ください。

062 狩野幸繁

サンゴの産卵を見るツアー

会報8号でお知らせしました、7月の西表島ツアーを、サンゴの産卵が見られる6月に変更しました。

* ポイント 西表島

* 日程 6月12日（火）～17日（日）

* 旅行会社 パイナップル

* 費用 17万円位

* 宿泊 うなりざき荘

* 人数 10人まで

* 問い合わせ、申し込みは

036 奥平泰成

TEL、FAX 045-911-1714

掲示板

フィリピン・セブ島に於ける治安情勢について
2月22日、フィリピン・セブ島のパルド地区で法人建設関係者6人が、待ち伏せしていた数名の男に短銃で発砲されると言う事件が発生しました。この襲撃事件で、邦人に負傷者はありませんでしたが犯人グループの目的及び背後関係等不明であり、警察で調査中です。これまでマニラ等他の地域と比べ安全であると言わされてきましたが、今回の襲撃事件を踏まえ、今後のセブ島においても治安情勢については十分注意する必要があります。セブ島に付いては現時点では海外危険情報における危険度対象地域には含まれていませんが、十分注意願います。

問合せ先：外務省領事移住部邦人対策室

電話：03-3580-3311（内戦）3046
事務局

2000年最後のダイビングをニューカレドニア・リフ島に潜りました。素晴らしい海に魅せられ、良い思いで作りの締めくくりが出来ました。事務局の大変なご努力により会報も立派になりました。本当に御苦労様です。感謝して読ませて頂いております。

068 千葉美子

11月に沖縄に行った後ダイビングは行なっていませんが、山に3度ほど登りました。海と山と交互に行きたいと思っています。3月頃からダイビングを始めたいと思っています。

225 芳賀幸子

昨年3月より日本丸にて世界一周旅行を致しまして折角の夏期に出かける機会を失い「ライセンスを取ったけれど・・・」といった実情です。トシも身体もついていけるかしら！の不安ばかりで困っています。この機会に皆様のパワーを頂いてと思っています。

303 田所恭子

最近小生が加入していた三浦半島の芦名ダイビングショップが閉鎖されたままなので、止む無く沖縄か海外に出かけるのですが、一緒に出かける人に恵まれず、ロンリーダイバーです。

一緒にダイビングできる友人募集中です。未だ70本程度ですので、技術は十分ではありませんが、足手まといにならない様にしますので、機会が有りましたらお誘い願います。

390 金井達雄

今年は北海道一周（10日間）とランギロア（1人旅）に行ってきました。ランギロアの余りの良さに2001年6月頃再度行くつもりです。

080 中村清

昨年に入会させていただき本当に良かったと感謝しています。一緒にさせていただいた皆様のおかげで楽しい思い出が一杯出来ました。初心者向けにスキルアップダイブの機会を数多く頂きたく思います。

364 百野博久

役員の皆様いつもお世話になります。私は61歳でダイビングを始め2年目の今年10月に100本になりました。私の贅沢なダイビングプランとは？

- * 大物が出て魚影が濃い
 - * デラックスリゾートホテルにゆっくりと滞在
 - * 食事が美味しい
 - * 交通の便がよく余り遠くない
 - * 現地のサービスフォローが良い
- ちなみに以上の条件を大体満たしてくれたのは、パラオPPRホテル、サービスはブルーマリーンでした。

289 伊丹和美

2000年はフィジーマナ島へ関川会長にご案内いただいた1回のみでした。新年はせいぜい頑張って一緒にさせていただきたいと思っております。

023 山岸雅 024 山岸秀香

会報の7と8号読ませていただきました。ダイビングを始めて未だ1年なので、今まで技術的な事を身につけていくのが精一杯でしたがだんだんと今度行くツアーの場所を世界地図で探してみたり、魚の名前をおぼえたいなと思ったりするようになりました。そんな私にこの会報は隅から隅まで一字一句とても興味深く、ダイビングの広い世界を知るとしても楽しい、素晴らしい読み物です。次号が待ちうれしいです。リーダーの方々のご努力に感謝しつつ2001年にカンパイ！

409 小西ゆみ子

原稿募集 テーマ「ダイビング中の体験」
(あの時はヒヤッとした) (あの時は怖かった) etc
そんな体験をお持ちの方是非寄稿ください。5月7日までにお願いします。 広報担当 大隅照子

プエルトガレラ・ツアーア

2000.11.16~22

323 真杉 靖夫



新入りの初ツアーで報告書作成の大役をおおせつかつた真杉で御座います。首尾良くできればお慰みです。

ツアー発起人はSDC098菊川氏でツアーメンバーは、088芥川氏、132岡野氏、276熊倉氏、323真杉、085鈴木さん、047竹腰さん、151吉田さん の計8人でした。

日程は11月16日から22日の7日間。

プエルトガレラと言う地名は御存知ない方も多いと思いますが、マニラから車で2時間半南にくだり、バタンガスと言う所で日本の釣り舟程度の大きさのアウトリガーに乗り換え、1時間ほど海を渡ったミンドロ島の北東の端の町です。

以下小生の日記より。

11月16日 晴れ

マニラ空港では荷物の出が遅く、関西空港組をかなり待たせたようだ。二時間半の車の旅でバタンガスにつきアウトリガーの船に乗りかえる。

荷物運びは全てやってもらえるので楽。ホテルに着き、部屋割りとなつたがここで一悶着。ツインの部屋のはずがダブルベッド部屋換えを頼み外へ飯を食いに行く。トロピカーナと言う店で金の両替もできる。飯の安さに驚く。ビールを飲みトンカツ、ブルゴー

ギ、ビーフン、焼き飯、アイスクリームなどを取り、一人1000円程度。

11月17日 金曜日 曇り

八時間ぐっすり寝て六時四十分に起きる。同室の芥川氏はもう起きていた。隣のラ・ラグーナまで散歩。朝食後、機材を持ってショップに行き準備開始。

ガイドしてくれたり装備を手伝ってくれるのは日本人のかずこ、イギリス人のルーシー、オーストラリア人のマーク、韓国人のキムの4人で、常時最低2人がつく。レギュとBCを出すとセットして船まで運んでくれる。その他の装備を着け船に乗りこむ。最初のポイントは船で2分。船に乗るとすぐにフィンを着けてと言われる。2本目を終えてから昼食。

焼き飯と魚の焼いたもの、ジャガイモとリークのスープ。スープは、ダイブショップのオーナーのリックが作ったと言う。昼食はダイブショップのサービス(料金に込みという事)しかしにその料金が5泊のプエルトガレラでの朝めしつき宿代、ボート、タンク、ガイド、およびマニラの最終日のホテル(ハイアット)代を入れて497米ドルだった。兎に角安い。ダイブは今日から四日間毎日3本。小生のバディーは鈴木さんという女性でアシスタントインストラを持っている由。

3本目は流れの有る所でドリフト。こぶしめの絵がきれいに撮れた。夜飯はホテルで。外が雨だったので出るのが億劫で已む無し。その後女性群の部屋で岡野さんの300本記念パーティー。

なかなか準備が良い。

ペルト・ガレラってどんなとこと友人にメールした所、返事は「不良外人の溜り場」。この表現は全く的確で同行皆の一一致した所。ホテル、レストラン、バー何れも白人がフィリッピン人の女性と同棲してやっているもので、日本人に遭う事はない。

最も日本人もここでは外人、我々も不良か？

11月18日 土曜日 雨後曇り

朝雨が降って海に白波が立っている。朝飯を終え出かける準備をしている内に雨がやみ、海も静かになってきた。一本目のポイントに向かう途中で、日も射して来た。昼飯は延びたやきそば。

これはあまり美味くなかったが、スープは美味しかった。頼んだら椰子の実を取ってくれた。久し振りでなかなか美味かった。やはり3本やり宿に帰ったが今日はマッサージをやる事になった。700円ぐらいで30分ぐらい。椰子油を使ったオイルマッサージで試してみたが油がべとつき好きでない。

明日は天気が良さそうなのでペルデ・アイランドに行くとリックが言いに来た。夜は初日にいったトロピカーナに行く。三種類のフォンデュが並んだ。

11月19日 日曜日 快晴

朝から晴れて良い天気。遠いので何時もより大きな船で行くため、桟橋から機材を積みこむ。ポイントは島の南東にある岩礁。そのまわりがドロップオフになっているポイント。

いつも流れが速いとのことでビデオとカメラの持ち込みを遠慮させられたが、全く潮なし。

透明度も素晴らしい今回のツアーで最高のダイビング。1本目を終わって島に上がりバーべキュー。牛肉と鶏肉を焼いてくれたが上手に味付けがしてあり、戸外で食う事も加え美味かった。2本目は皮肉な事にビデオの持ち込みはできたが少し潮があり、更に先導のマークが動きが早過ぎ、ゆっくり見られず不満を持った人が多かった。ペルデは2本の決まりらしく、今夜ナイトをやることになった。五時半まで部屋で休みナイトに行く。

六時に船を出し初日の1本目のポイントで潜る。

沈船の中に金魚ハナダイが石の間で眠っており、乙姫海老が元気に歩き回っていた。

船の外側にはハナミノカサゴが張り付いて何匹も眠っていた。

砂地でも沢山の魚が眠っておりこんなに沢山の魚をナイトで見たのは初めて。

夜の飯は大使館員の松井さんがテーブルを取っておいてくれた宿近くのレストランで食べる。

11月20日 月曜日 晴れ

今日がラスト。キャニオンなるポイントに向かう。ついたら流れが激しく白波が立っており、諦める事になった。前に潜った近くのポイントに変える。透明度悪く面白く無し。

残りの2本もポイントを変えたが、何れも透明度が良くなかった。夜はフロンティア・ダイバーズの五人を招いて晩飯。かずこの案内するイタリア系の飯屋に行く。こここの飯は結構美味かった。

11月21日 火曜日 晴れ

朝飯の後ショップへ行って自分の荷物をメッシュバッグに詰める。未だあまり乾いていない。十一時頃桟橋から船に乗る。バタンガスでマイクロバスに乗り換え途中マクドナルドで昼飯を済ませ、二時半ごろにハイアットにつく。街中へ買い物に出かけ、マンゴスチンと甘栗を買って帰る。夕食は今回のたびで最も豪華な中華を隣のヘリテッジの中のレストランで食べる。ホテルへ帰ってからもバーでひと騒ぎし、十時半ごろ寝る。

11月22日 水曜日 快晴

朝飯を食べてからは昼まで暇なのでプールへ行く。小生だけ一日後れて帰ることになっており、十二時に皆さんと別れる。

全体のダイブポイントの印象は、ペルデ以外は船で十分以内船酔いの暇が無い。大物は出ないがかすみあじ程度は出てくれ、最終日以外は透明度も悪くなく、珊瑚礁ダイブを楽しむには良い場所と思う。珊瑚物のへらやがら各種、みのかさご、くまのみ（くまのみ、かくれ、はなびら、せじろ）は何処にもいる感じ。特に小物好きには各種ウミウシ、何とかかくれえび、かくれがに、など多い。ソフトコーラルも種類豊富で色もとりどり。特に緑色のものが珍しかった。手を伸ばしが・バー（じゃんけんの）を繰り返すソフトコーラルはじっと見ていて見飽きない。

ホームページの積極活用！

HPでは、日々会員通しの、情報交換がおこなわれています。

未だご覧になっていない方、又パソコンをされていない方、是非チャレンジしてみませんか。

きっとバディや、お友達の輪が広がりますよ。

<http://sdcj.csid5.com/>

慶良間・リバー

095 加藤 初広

今回、今年最後のツアーと言う事で11月24日～28日(4泊5日)で計画。

沖縄本島から高速艇で約1時間で慶良間諸島に着き2ポートダイブ合計3日間で6ダイブという計画でした。

参加者は今回は小人数で僕を含めて、後藤清孝さん、福田孝子さんの計3名でした。

利用させて頂いたダイビングサービスはコーラル、オーナーの蓮尾さんはサイパンでガイドをしてもらつた事がありその後4年前に沖縄に移住、現在ダイブスタジオ・コーラルを運営。

11月25日、天気晴れ、気温22～25度、海況穏やか、水温24度、透明度20メーターとまずまずの状況、1本目はアカ島(佐久原漁礁)

10時30分頃各自エントリー、深度7～8mで全員集合ゆっくり移動、右側のサンゴを見ながら深度30mに有る漁礁まで移動、漁礁にたどり着くとまずはツバメウオの群れが目に入り次にヨシジフエダイ、グルクンの群れ、ハナゴイ、タテキン、アカククリ、ハナゴンベ、センネンダイ、ニシキヤッコなど、各自カメラのシャッターを切る、帰り際にフリソデエビを発見、残圧50でエキジット。

2本目、2時過ぎエントリー、ポイントは渡嘉敷(アリガーケーブル)深度10mで集合ゆっくり砂地を移動し深度20mぐらいにある根に着くと、キンメモドキ、ユカタハタ、スカシテンジク、バラハタ、ガーデンイールなど45分でエキジット。

11月26日、天気晴れ、気温23～26度、海況穏やか、水温24度、透明度20mまずまずの状況、1本目ポイントザマミ(トウマno.1)エントリー。

10時30分深度7～8m自由潜降、アンカー近くでシマ海蛇を発見、すかさずシャッターを切る。このポイントは砂地が多くヤシャハゼ、ダテハゼ、ガーデンイール、セジロクマノミ、モンガラカラハギなどマクロ系の生物が多い。

55分でエキジット。

2本目は座間味の灯台北、2時間の休息の後ポイント移動、2時30分頃各自エントリー

水深7～8m、全員集合しゆっくりと移動、20メートルぐらいでハナゴイ、リュウキュウハタンポ、アカククリのヤング、キンメモドキ、アカマツカサ、ベニマツカサ、タテジマヤッコ、マダラタルミ、など起伏のあるポイントで生物が多くとても楽しく潜水50分

でエキジット。

11月27日、天気晴れ、気温22～25度、海況北風あり多少の波あり、水温24度。

今日のポイントは安室島(サンドヒル)、10時30分各自エントリー、水深5～6m、透明度20～22m砂地をゆっくり移動、水深17～18mで大きな根にたどり着くと根の周りにスカシテンジクダイが群れ、ユカタハタ、ネッタイミノカサゴ、デバスズメ、ドクウツボ、ミスジリュウキュウスズメ、ネッタイスズメなど慶良間らしいポイント、64分でエキジット。

2本目、2時間の休息、ポイント移動渡嘉敷(野崎)エントリー2時ごろ、水深7～8m。

サンゴの群生が目に入る、ゆっくりサンゴを見ながら移動、テーブルサンゴの間に、ソウシハギ、バラハタ、ハナビラクマノミ、メガネゴンベ、ホシゴンベ、ウコンハネガイ、クロモドーリス・ウイラニ(白いウミウシ)など、最後のダイビングとしてはとても面白く潜水でき、とてもラッキーでした。

3日間をふりかえると、天候に恵まれ、海況もよく今年最後のツアーとしては最高の慶良間でした。

また、来年ツアーを予定しておりますので皆様ふるってご参加下さい。

自らツアー計画を！！

会報のツアー計画を見て参加されるだけでなく、自らツアー計画を企画してみませんか。クラブツアーは自己責任が大原則です。リーダーに責任はありません。大層に考えず、自分が行きたいところに「一緒にいける人いないかな～」位の気楽な気持ちで、ツアー計画をお出し下さい。

又クラブツアーに申し込まれる皆様に、是非お願ひいたします。

ツアーやリーダーは、添乗員でも、旅行社の人でもありません。全てにボランティアなのです。くれぐれも失礼の無いよう感謝の言葉をお忘れなく。

ハンマーヘッドシャークを追ってどこまでも
374 藤本 広子

こんにちは 会員になって初めてペンをとりました。
あまりの手付かずの素晴らしい島と海とに感動、皆さんのお役に立てればと思いつつ

場所 コスタリカのココアイランド

日 20世紀最後の12月

集合はコスタリカのプンタマリナス港 (サンフォセのホテルでピックアップ) 総勢11人 ((USA、オーストラリア、アイルランド、コロンビア、イタリアそして私)

ココまで3~4時間の長いクルーズ、すっかりみんな友達になってしまった。ココ島の静かな入り江に船は碇を降ろした。そして朝日が昇るのを待った。穏やかな、輝いているこの海の中にはいったい何が隠れているのだろうか?武者震いを感じつつボートに乗り込んでファーストダイブ。迎えてくれたのは大きなスティングレイ。人間を知つてか知らずか、ゆうゆうと美しい舞を繰り返す。写真のレンズに収めるには一歩も二歩も下がらなくてはならない。岩穴を見るとそこは魚のカーテン。底には思いっきり成長したガンガゼと優しそうな目をしたホワイトチップが重なっていたり、口を大きく開けてパクパクしながらこっちを見ているガーデンイール、思わず微笑みがこぼれる。

赤や黄色の魚が群れている様は実にきれい。また、シルバーグレイのアジの玉も豪快です。私たちは次々にダイビングポイントを制覇していった。潜るたびに違った環境。どのポイントもどこからハンマーが現れても不思議でない、そんな感じのするココの海です。目の前ばかり気にしていると見落としてしまう、上空でハンマーがうねっているシルエットを……。

そして、ココ島一、二を争うポイント、アルシオンでは常にハンマーが見え隠れしている。Alcyone:A600

'long submerged mountain, the top of the mountains is 75' from the surface schooling hammerhead mantas and schooling fish possible sailfish or marlin' とブリーフィングされた。流れが変わる。サーモクラインがおこる。ダウンカレントがおこる。すると必ず現れてくる私の恋人。大きな身体で愛らしい目をはるか遠くの横に向けて、そしてもっとも臆病でいったい何が見えるのだろう。泳ぎもへたくそ、クネクネとサメハダをくっきり目に焼き付けてゆっくり浮上。

長い航海なのに短いダイビングを惜しみながら再び港を目指して帰路の途についた。

クルーズ船内ではオープンバーが開かれ会話が弾んだ。次はどこへ行くの?何を見たい?またお会いしたいね。メールのやり取り、時間の経つのは早かった。私にとって20世紀最後の冒険でした。



- 1.容姿 あまり格好良くないけれど並の容姿は備えている
2.性格 穏やかでうるさいことは言わない
3.能力 並の上を目指していますが…
評価は皆さんで

- 4.長所 情報収集は怠らない
みんなお魚好き
アットホームな雰囲気で一人からでも大丈夫

<料金の一例>

*ビーチダイビング

1DIVE ¥6,000
2DIVE ¥9,000

早朝 DIVE ¥6,500

ナイト DIVE ¥6,000

*ボートダイビング

1DIVE ¥9,000

2DIVE ¥13,000

柳場 潔 <愛称 GIBA>

出身、青森県 血液型、B型

性格、お調子者、特技、物忘れ

ダイビング始めた当初思ったこと。

- ① 一生の趣味として遊びはこれ1本
- ② 絶対にダイビングは仕事にしない
- ③ 物獲りダイバーにはならない
- ④ 海の素晴らしさを広めるぞ~
- ⑤ 海では絶対に死なんぞ~

〒100-0101 大島町元町北野1-74

TEL 04992-2-1966



グローバルなダイビングサービス

2000&200

249 若狭 智京



ご一緒した山岸さんご主人と共にマナ島(フィジー)での200本記念を、現地の人達によるギター演奏で祝ってもらい、60才を振り返った時に、とても良い思い出が出来た。

ニューカレドニアでの体験ダイビングがきっかけで今回200本までになってしまった。

インストラクターの方に手をつないでもらい、綺麗な魚と共に潜れたことは、それまで水が嫌いで海に入れなかつた自分が今こんなに楽しくしているのが夢のよう、是非ライセンスを取ってまた魚と泳ぎたいと思った。先ず、水泳を習いそしてダイビングスクールに挑戦、しかし各種機材を装着しての講習課題は体験ダイビングと大違い、食欲はなくなる、無理に食べればもどすし、私にとって苦しみのダイビングへの道と化し、何度も止めようかと思ったことか。しかし、主人が先にCカードを取ったこともあり、途中で止めるわけにも行かず一時体調を崩し中断していた講習も沖縄に旅行した機会を利用し、再度挑戦、朝から晩まで文字通り必死にインストラクターのシゴキに耐えやつとの思いでカードを手にすることが出来た。

しかし、なかなか潜降できなかつたり、身体がくるつと回つたり、安全停止の途中で浮上したり、等々の失敗を繰り返しながらの100本だった。

その後水中で少し余裕ができたのかカメラをやつたり、今はビデオにはまっている。

レンズを通して魚の目の動き、小さな生物の動きをじっくり観察できる楽しみが加わった。

そしていろいろな方々達と知合い(年令、男女関係なく)、海と言う共通テーマで語り合えたこと、こんな素晴らしい時間を持てたことを感謝しての2000年の200本となった。

300本を目標に心身共に健康で、いつまでもダイビングが続けられるよう日々頑張っていきたい。

皆様ありがとうございました。

G-FREE DIVING SERVICE

5つのコンセプト

1. 創造力・オリジナルポイントを繰り展開
全く新しいスタイルを提案。
2. 感動・林 豊自ら感動したポイントだけを
ブリーフィングと共に提供
3. 充実感・AM2本・PM1本3DIVE パター
ン。豊富なポイントと充実のダイビングライ
フを約束
4. 快適・新艇「G-FREE I号」新エリアへの
快適なアクセスを実現
5. 満喫・G-FREEスタッフが、海から陸まで
全ての時間をトータルケア

~PRICE LIST~

1ボートダイビング	¥ 8,000
2ボートダイビング	¥12,000
オプションダイビング	¥ 6,000

~STAFF~

* 代表 林 豊



昭和43年生まれ・A型・福岡県出身
西表島『ダイビングチームうなりざき』で9年間
ガイドとして活動し、現在プロ歴11年。
大物小物を問わず、水中生物の横顔まで紹介する、
その繊細かつ大胆なガイドとブリーフィングには
定評がある。ゲストそれぞれの「夢」をかなえる
ガイドがモットー。

* 渡辺 奈緒子

昭和49年生まれ・A型・福岡県出身

ニックネームは「なおを」

* 村田 法子

昭和44年生まれ・B型・奈良県出身

ニックネームは「のり」

1000本と400本の稀有な、同時記念ダイブ

狩野幸繁さんが1000本を近々迎えるということは、昨年から伺つていて、その際はあやかりた
いのでは是非ご一緒させてください、とお願いをしていました。

今年になつて「三月の平日に伊豆海洋公園で1000本記念ダイブをやりたいが、都合はどうです
か」とメールで知らせてきた。

1000本目と言う半端でない本数の記念ダイブに、伊豆の海洋公園を敢えて選ぶとは、伊豆半島
大好き人間の如何にも狩野さんらしい。

折角の記念ダイブなので、少しでも多くの人と一緒にしたほうが宜しかろうと、HPで呼び掛けたと
ころ、櫻井憲義さんが「自分も400本記念と一緒にしたいから」と名乗りをあげ、また岡崎から
横田美美子さんも一泊の予定で駆けつけて来られることになった。それにつけても、今は伊豆の海
中水温は十二から十三度。一年を通じ最も水温の低い厳寒のダイブである。

三月八日、快晴なれど三寒四温の季節柄、前日より六度も気温の下がつた海洋公園。

SDCのメンバーなんと総勢八名集合。

先ずその猛者を紹介しよう。

狩野幸繁（〇六二）、1000本の当事者）、狩野千代子（〇六三、奥様）、櫻井憲義（三九七、四〇
〇）、本の当事者）良縁寺悦子（〇二六）、横田美美子（一八六）、佐藤道子（三五七）、関根一男（〇四
九）、宇留賀達雄（一九七）の面々。

櫻井さんが、1000本と400本記念の大きなフラックを作りしてこられた。水中でもフラッ
クがきれいに撮影できるようと、両サイドに今朝裏山で取つてきたという竹を入れ、ダイバーの
イラストや、文字を上手に配し、なかなかの出来栄えである。海岸淵で記念撮影。そしていよいよ
記念ダイブ。砂地に着底してフラッグを真ん中にパチリ。

今度は、DSナツソーランボンにぶら下がつた「祝1000本」の短冊が！
1000本とハリセンボンをかけた、にくい演出。ハリセンボンを捜し求めて昨日駆けずり回つた
との事。

その心遣いがなんとも嬉しい。

寒い伊豆の海でどんな魚が見られたか？まー細かい話はまたにして、ログ付けを終わつて皆で
良縁寺さんが予約して下さった伊東のおすし屋さん海女屋で「おめでとう会」。

櫻井さんには「コブダイ（弁慶）」。そして横田さんからもお二人に記念品。

これを機会にまた色々な人とめぐり合え、親しくなつて・・なんて素晴らしいこと。

狩野さん、櫻井さんを目標に楽しいダイビングライフをしたいものと改めて感じ入つた次第。

狩野さん、櫻井さんおめでとう。コングラツツ！

一九七 宇留賀 達雄





表紙に寄せて

私とモルディブとの出会いは南マーレのオルベリビューホテルのオープンに始まる。水上コテージ近くのビーチを散策中にメロン程の大きさのオイルボトルを見つけた。ビーチサンダルで踏みつけたところ真っ黒な（もの）が中からでてサンダルにこびりついてしまったのです。ショックだったことは今でも鮮明に覚えている。それ以来何度となく北マーレのバンドス通い。通い始めた頃は大群集だったパウダーブルーサージョンフィッシュも、ヨスジフエダイも今では小群集となってしまった。コテージ前の白砂は波に洗われ椰子の木等、無残な姿を露呈している。施設が立派になればなる程、海の中は淋しくなる。この現象は何もモルディブだけのことではない。一年程海から遠ざかっていたが今年はマブルーとシバダンに出かける心算です。

○二七 渡辺 良子

◎ 新年度会費の振込みをお願いします。

4月度から、新たな年度です。既に御案内の通り今年度から会費が値上がりになり、年会費 5,000 円（家族会員 2,500 円）です。お届けしました、郵便振替用紙をご使用になり振込みをお願いいたします。

◎ 総会＆懇親会のお知らせ。

来る 6 月 16 日、恒例の総会＆懇親会が開催されます。詳細案内は、5 月に郵送いたしますが、沢山の皆様の参加をお待ちいたしております。

会場：渋谷エクセルホテル東急

日時：6 月 16 日（第 3 土曜日）12 時より

2 次会 15 時より

（新年会で配布済のプリントに記載された日時と違っていますのでご留意ください）

◎ ダイビング計画募集中！！

ダイビングに参加されるだけでなく、是非ご自身もリーダーとなられ、ツアーリーダー計画を出されませんか。国内外を問いません。是非、ご協力ください。お待ちいたしています。

（良縁寺 悅子）

日本シニアダイバーズクラブ

紹介と入会のご案内

日本シニアダイバーズクラブ（SDC）は、スキューバダイビングを共通の趣味とする任意の団体です。

会員の年齢は中高年が主体ですが、20～80歳代までと幅広く、又地域も北は青森、南は沖縄までと全国に拡がっています。

SDC では、1月の新年会、6月の総会等の集いやクラブでのダイビングツアーや、スキルアップ講習会、会員との情報交換のため雑誌の季刊発行、ホームページの開設等を行なっております。

SDC は創立 7 年を経過し現在約 400 名近くの会員を擁しています。

「ダイビングを共通の趣味とし、楽しい仲間の集い」の概念に共感いただける方なら、どなたでも入会できます。（入会金千円、年会費 5 千円）

また、SDC に協賛いただける法人の賛助会員も募集しております。

入会希望者は事務局まで、郵送または E メールでお申し込みください。

◎ 編集雑感

年 4 回の季刊発行を目指してから 2 年目を迎えます。お蔭様で沢山の会員の皆様から寄稿を頂き、また「発刊が待ち遠しい」「読んでいて楽しい」等嬉しいお言葉に支えられ、9 号が完成いたしました。

大変な入力作業も、前回からお手伝いいただいている清原れい子さん達のご助力に助けられました。本当にありがとうございました。

尚勝手なお願いですが、寄稿されます際、パソコンをお持ちでメールをされる方は、プリントアウトせず、メールで原稿を送信いただけすると、再入力の手間が省け大変助かります。直接メール画面でも、添付書類でも構いませんので是非ご協力ください。

昨年末新たに HP を立ち上げましたところ、大変多くの会員の方にご覧・ご利用いただき、「掲示板」を使って活発な情報交換が日々行なわれております。

未だパソコンを始めたいと思いながら躊躇されておられる方は居られませんか。思い立ったが吉日サ一始めて見ましょう。どんなに楽しく、新たな世界が広がるか。C カード取得と同じです。（宇留賀 達雄）

SDC Japan 2001 年 4 月 №.09 号

日本シニアダイバーズクラブ

〒215-0013 川崎市麻生区王禅寺 25-2 宇留賀 方

TEL 044-987-8900 FAX 044-987-8900

E-mail sdcj@csidc5.com

URL http://sdcj.csidc5.com/

編集：宇留賀 達雄・大隅 照子

発行：関川 清一

価格 300 円